京城日報

三日夕刊（四日附夕刊併せて八頁）

△本紙定價　△廣告料金　京城太平町通一丁目　發行所　京城日報社　電話

◎ベ氏再任運動開始

伯林よりの報道に依ればヘルトリング氏は帝國議會に多數を制する能はざるを知り就任を辭退したると共にベートマンホルウエッヒ氏の再任運動開始されたり（紐育電報）

◎米政府造船能力

米國造船局長は米國造船業者は來年三月一日迄に百萬噸の造船を爲し得る能力あり造船業者は來年中に六百萬噸建造の計畫ありしも這は非常の努力を要すべしと目されつゝありと曰へり（倫敦電報）

◎露銀更に廿億留

露國發行は露暦十月六日閣令に依り更に二十億留の紙幣發行權を附與されたり（倫敦電報）

◎敵飛機倫敦襲撃

十月三十一日敵の航空隊は夜相次いで倫敦を攻撃せり其總數約三十機にして三四隻宛七隊に分れ異れる飛行路を執りて倫敦の外廓に達せるが悉く撃退されたり（倫敦電報）

◎佛軍敵捕虜多數

十月二十三日より二十七日迄の戰闘にて佛軍は捕虜一萬一千百五十七名を獲たるが其内二百三十七名は將校なり又鹵獲せし大砲は百八十門に及べり（倫敦電報）

◎伯林市民の雀躍

伯林市民は元同盟國たりし伊太利が三年間の日數を費して占領したる地域を我軍は僅かに四日にして奪還し更に敵地に侵入せりとて熱狂的喜悦に雀躍しつゝあり（倫敦電報）

◎獨墺軍勝利公報

獨墺公報に曰く獨墺軍はイソンゾ方面より前進し敵をタクリメント側に壓迫し敵を包裂して其退路を遮斷し捕虜十二萬砲一千門を獲たり今や捕虜の總數十八萬、砲の鹵獲千五百門に上れり（倫敦電報）

◎張勳氏流轉奈何

獨逸兵營内に在りし張勳氏は十月三十一日夜和蘭公使館に移されたり支那政府は張勳氏を阿弗利加のマダカスカル島へ流竄したき旨交戰國公使團に交渉しつゝあり和蘭公使は已むを得ずんば蘭領印度に移したき希望を有せり（北京特電）

◎樞密顧問官

三日午前十一時宮中にて左記の如く親任式を行はせられたり（東京特電）

正四位勳一等男爵　久保田讓

任樞密顧問官

◎勅選議員缺員

貴族院勅選議員男爵久保田讓氏は三日樞密顧問官に親任せられたるを以て勅選議員は都合六名の缺員を生ずるに至れり（東京特電）

◎梁氏一行來著

梁士詒氏一行九名は二日夜神戸に來著せるが一行中には第二夫人何氏第三夫人張氏陳植氏元交通銀行文書課長陳復顧氏等あり六日東上の豫定なりと（大阪特電）

◎天野博士辭職

法學博士天野爲之氏は早稻田大學に對する自己の意見を遂行する爲め森村男、中野武營氏の三維持員に宣明し後事を託し同大學の一切の職を辭せり同大學校規改正委員に選任せられたり（東京特電）

◎留盆々暴落

浦鹽の留相場盆々暴落し千留……なれり（大阪特電）

◎黒井中將通過

旅順要港部司令官海軍中將黒井悌二郎氏は東上の途二日午後七時釜山發列車にて來釜同八時卅分關釜連絡船新羅丸にて東上せり（釜山特電）

◎尾崎代議士通過

代議士尾崎敬義氏は二日午前十時三十分著列車にて安東通過奉天へ向へり（安東特電）

◎總督兩宮參候

長谷川總督は四日午前八時十分出發東上に就き二日午後二時齋藤大島兩副官、神田秘書官藤波通譯官を隨へ昌德宮、德壽宮に伺候し告別の挨拶を爲したり

◎總督出發

長谷川總督は秋季特別大演習陪觀の爲め齋藤、大島兩副官、神田秘書官、宍戸屬等を隨へ四日午前八時十分南大門驛發特別列車に搭乘出發の事となれり、途次郷里山口に立寄り郷黨主の厚意をなし六日午前八時卅分東京驛著の豫定にて夫より直ちに演習地へ向ふべしと

◎資金集散豫想

十一月中朝鮮に於ける資金集散豫想の概算に付鮮銀の調査を聞くに收納は國稅及び準國稅收入百九十六萬六千六百三十六圓諸官廳拂込朝鮮製粉外三會社合計六十三萬七千五百圓にして合計二百五十九萬四千五百三十六圓を示し散出は鮮南勸業會社外十三社の利益配當十一萬零八百四十五圓勸業債券及び農工債券の利拂三萬二千七百七十圓七十錢合計十四萬三千六百十五圓七十錢にして之れを前年同月に比すれば收入に於て國稅收入拂込金の一萬圓の增加に止まり居れど株金拂込みは全く新なる增加にして又散出に於て諸會社利益配當一萬五千圓の減を示せり

◎在鮮銀行會社

其筋調査に係る最近朝鮮内に於て本店を有する銀行會社數並に拂込資本金は左の如し

會社別	社數	拂込資本額（圓）
株式會社	一四一	四四、七一七、二五〇
合資會社	六八	二、三六一、二六〇
合名會社	二七	一、一六五、一五〇
合計	二三五	三八、二四四、六六〇

にして右の内會社數は商業の九十三工業の四十五を最多とし運輸の二十六農業の二十九瓦斯電氣の十五銀行の十二社等之に次ぎ居れるも資本金は中央銀行たる朝鮮銀行の一千二百五十萬圓首位にあり

◎通信收入概況

大正六年度九月中の通信事業收入は二十八萬三千四百七十圓にして豫算に比し四萬五千四十七圓（一割九分）超過し前年度同月分の收入に比すれば五萬八千七百八十一圓（二割六分）を增收せり又九月迄の收入累計は二百零五萬四千九百七十圓にして豫算を超過すること二十五萬二千百八十七圓（一割四分）前年度同期の收入に比し卅二萬八千九百圓（一割九分）の增收となれり

▲印紙收入の概況

大正六年度九月分印紙收入は三十一萬六千六百七圓同月迄の累計は二百二十一萬七千六百五圓にして前年度同期の收入に比すれば九月分は著しき增收を示せり

◎京城金融狀況

京城商業會議所の調査に係る九月中の金融狀況を聞くに諸工事其の他

▲冬物仕入資金　等多少の需要無きに非ざるも米豆は端境期に入りたることとて出廻り薄く紙布は前月來の暴落の爲め商況不振に陷りたる爲め格別纏りたる資金の需要なく前月に比し金融緩慢なりしが如きも一方新穀資金の需要期に入り其の他入營貿付準備等の爲め漸く資金需要の程度を高めつゝあり、加ふるに東拓債券の賣出、鮮銀新株第二回拂込等は相當金融緊密の氣勢を添へつゝ當月を經過せり、尚本月末

▲市内九銀行の　殘高を見るに預金二千九百七十三萬九千八百四十八圓貸出二千五百三萬二千百十三圓にして之を前月に比する預金三百三十四萬餘圓貸出百二十一萬七千餘圓の各增加を示せり而して更に之を前年同期に比する時は預金に於て六百四十七萬三千餘圓貸出に於て六百二十三萬七千餘圓の孰れも增加を示せり

◎鮮滿直通に就て

大塚安東驛長談

本月一日より豫定の如く鮮滿直通急行列車の著發を見るに至り旅客の至便なる從前の比に非ず右に就き今大塚安東驛長の談を聞くに▲今回の時間並に運轉の改正は旅客に取りて多大の利便を享受せるや必せり、然ども釜山京城乃至奉天等は其の爲めに從前の停車時間と大差あるものとも認められず要は從來安東に於て接續されたるものが接續を要せずして奉天直通となりし結果乘替の不便無く又た長時間を要せずして發著を見るに至り乃至は一時間以上縮少されたり又車輛も改良されたる結果旅客に與ふる快感は尠少ならざるものと認む、只之れが爲め驛員並に稅關吏は短少なる時間内に一定の事務を辨ぜざるべからざるに至りたるを以て其の多忙なる同情に値すべきものあり（安東支局）

◎四氏の陞叙

曩に廢官となりたる元鐵道局技師横井實郎氏同局技手三本武重氏元總督府技師宇都宮寛氏は特旨を以て從四位に又元道技師川岡貞太郎氏は十月二十七日附正五位に陞叙されたり

◎沿海州農會と人蔘

浦鹽に在る沿海州農會にては朝鮮産に非ざる同地方産の人參を相當に貯藏し之を有志に頒ちゐたるが更に今後其の種子を播きて之れが耕作を試むる筈なりと

◎私營造林狀況

私營造林事業に關し京畿道管内に於ける大正五年六月より同六年五月に至る間の狀況を聞くに新植面積四千六百七十八町歩植栽本數二千二百三十九萬六千百八十七本にして其種子はアカマツ、クロマツ、ニセアカシヤ、クヌギ、クリ其他二十餘種なりと而して新植面積の内三町歩以上のもの内地人四十八人其の面積四百七十三町歩朝鮮人三百四十四人此の面積千七百五十七町歩にして又三町歩未滿のもの内地人八十三人此面積百四十八町歩朝鮮人八千二百三十九人此の面積一千三百十町歩を算し之が施業は主として造林貸付地にして縁故林公私有林之に次ぎ漸次植林思想の向上に伴ひ施業者增加の傾向を呈しつゝありと

◎京畿隊署長會議

京畿道警務部にては管内各憲兵隊長及び警察署長を召集し來る十三日より七日間恒例隊署長會議を開催す可く其の日程左の如し

▲十三日午前狀況報告午後指示注意事項衛生▲十四日午前指示注意事項午後諮問事項▲十五日午前……▲十六日午前……▲十七日午前……▲十八日午前……▲十九日……

◎郵便局所長會議

慶尚南北道所在の各郵便局長三十三名及び郵便所長五十七名は本月十日より三日間釜山商業會議所樓上に於て所管事務の打合會を開會する筈なるが總督府よりは持地通信局長官臨場し一場の訓示を爲すべしと（釜山）

◎面事務所變更

京畿道富川郡及び利川郡に於ける面事務所の位置左の通り變更の認可ありたり

富川郡桂陽面事務所▲新位置　桂陽面場基里▲利川郡葛加面事務所▲新位置　葛加面陳加里

◎輕鐵第二工事入札

去る三十日午前十一時輕鐵會社事務所にて朝鮮輕鐵第二工事區たる河陽慶州間の工事入札を指名入札（中野木下小原山中松本）に附したるが豫算超過にて落札せず更に同日午後五時再入札を爲したれ共又豫算超過の故を以て落札せず結局同社は總督府と協議し豫算額を增加したる後更に入札に附する事とせり（大邱）

◎輕鐵第一日乘降客

既報の如く朝鮮輕便鐵道株式會社にては去る一日より大邱河陽間の運轉を開始したるが第一日に於ける乘降客數を聞くに大邱驛は乘客十七名降客二十名東村驛乘客六名降客一名清泉驛乘客三名降客十名河陽驛乘客二十二名降客十三名なりと

◎郵便集配時刻改正

十一月一日より列車發著時刻改正に伴ひ京城局通常及び小包郵便集配時刻左の如く改正されたり

小包取集

便名	出發時刻	歸局時刻
一號	午前十時	午前十一時十二分
二號	午後四時五十分	午後六時二十分
三號	同十時	同十一時十二分

小包配達

便名	出發時刻
一號	午前七時三十八分
二號	同十二時
三號	午後二時二十分

通常郵便取集

便名	出發時刻	歸局時刻
一號	午前七時五分	午前七時五十分
二號	午前十時四十五分	午前十一時三十五分
三號	午後一時三十分	午後二時二十五分
四號	午後四時三十分	午後五時十五分
五號	午後六時五十分	午後六時
六號	午後七時五十五分	午後八時四十分
七號	午後十一時三十分	翌午前〇時十五分

備考　第一號は木曜日に限り午前六時四十五分

通常郵便配達時刻

便名	出發時刻
一號	午前七時〇分
二號	午前十時三十分
三號	午後〇時二十分
四號	午後二時二十分
五號	午後六時〇分
六號	午後九時四十分

備考　木曜日に限り午前八時三十分出發

◎軍司令官旅程

朝鮮駐劄軍司令官松川敏胤中將は左の日程を以て大演習陪觀のため内地に向ひ其後東上の筈なるが往路は水原、南州、釜山三守備隊の巡視を行ふべし尚ほ隨行は南副官、竹内山本兩中佐にして其れ以後は竹内中佐のみなりと

六日午前八時五十分龍山發同十時三十分水原著守備隊視察一泊▲七日同地發……守備隊視察一泊▲八日午前九時……▲九日午前九時より……釜山著一泊▲十日……▲十一日午前……▲十二日午後……▲十三日……▲十四日……▲十七日……▲二十七日……▲三十日朝下關著同夜釜山著▲十二月一日朝釜山發夜龍山著歸任

◎佐藤軍醫動靜

朝鮮駐劄軍々醫部長軍醫監醫學博士佐藤恒丸氏は和田軍醫下士一名を隨へ一日午後大田著一泊の上二日午前七時半頃野外作業視察の爲め儒城へ向け發同日午後大田歸著中川旅館に投宿せり（大田）

◎村田課長出張

總務課長村田素一郎氏は三日附を以て咸鏡南道甲山郡新興郡咸興郡へ出張を命ぜられたり其の出發期は未だ確定せず

◎大田理事來鮮期

大連駐在滿鐵理事大田三郎氏は要用を帯び三日夜大連發列車にて來鮮の筈なるが多分五日午前八時南大門驛著列車にて入京すべし

◎古海總長動靜

師團對抗演習及び陸軍秋季特別大演習陪觀の爲め客月二十七日夜京城を出發せる古海警務總長は途中京都ホテルに滯在中の處二日午後京都出發名古屋一泊三日朝未明同地出發長野縣に向ひたる旨其筋に電報あり

◎村田技師轉居

總督府鐵務課技師村田素一郎氏は三日大和町老人亭官舍より南山町中村彥氏邸たりし大和町二丁目四號官舍（電話四〇九）に轉居せり

人事消息

▲松永武吉氏　二日午後永登浦より歸京

▲岡部長氏（鐵道局工務課長）……

▲蓮沼道太郎氏（山林課技師）……の處比の程歸任

▲大島良士氏（總督府技手）……

▲岩城信太郎氏（土木局技師）……を命ぜらる

▲湯淺代議士　二日朝入港の……丸にて……へ赴けり

◎戰闘北軍に不利

吳光新氏の副官北京に歸來せるが其談に曰く北軍は長沙を距る南方十數里の間に於て連日南軍と交戰し衡山にては特に激烈なる戰闘を繼續せるが概して北軍の不利に終り第一回の戰闘より今日に至る迄五千名の死傷者を出せり督軍傅良佐氏も湖南統一の不可能なるを自覺せるものゝ如く又南方民の北軍に對する惡感甚だしと（北京特電）

◎朝鮮事業債券と當局

朝鮮事業公債券四千五百萬圓の發行に就き東京、大阪の各銀行代表者は二日日本銀行に會合し今回はシンヂケートの引受けを爲さず全國に多數の募集申込店を設け公衆の應募に便ずることゝし右諸銀行は奮つて應募し且つ募集に盡力することゝせり、政府よりも特に各地方長官に對し發行注意書等を廻附し應募を奬勵せしむることゝせり（東京特電）

彼れ此れ

○支那南北の兵馬は、未だ何とも目口付かざるも、總括的に觀じ來れば、北方は大局の勝勢を占むるの觀あり。是れ金力と、權力と結び付きたる、勢力の勝利也。斯くて支那は、暫時北方派に統一さるべしとするも、支那に起れる新思潮は、支那の潜在意識として、永久に發達して、泯びざるべく、他日大亂の原因たらずんば幸也。

○獨軍のリガ占領は、其の一進一退、露國を揶揄するが如く、一個の皮肉たる觀あり。獨逸が露國内の、向背を測定せんとする驕慢は、軍事的外交ならんも、巧妙と評するよりは、寧ろ意地惡き行動也。而して彼れは、更に此の手を新に伊國に施すべし。油斷あるべからず。

○在米露國大使館商務官長は、露國の財政に就て曰く。露國の產業及び、財政の開發振興は、事業戰爭以後の事也。今後共和政體となれば、更に一新紀元を開き一層驚くべき開發振興を爲すべし。今次國民が戰費として、負擔すべき四百億圓は、決して悲觀するに足らずと。何處迄行くも、悲觀せぬ處が、即ち露國人の異常頭なるか。

題大覺國師碑本　淺見倫

釋○照○不○名○溢○大○覺○、神○鋒○放○光○如○驚○

求○法○萬○里○乘○貢○船○、元○豐○天○子○迎○黃○幢○

遍○訪○緇○揚○吳○中○山○、妙○旨○與○義○收○拾○遍○

又○有○祈○願○抵○東○海○、應○根○要○德○殲○魔○群○

都○臨○刊○行○風○兼○夜○、八○萬○教○藏○理○殿○今○

緇○紙○今○猶○存○詩○冊○、常○時○冊○卷○影○難○價○

邦○千○年○辣○泼○文○王○不○興○天○地○喪○

君○來○窮○搜○漢○南○北○、碧○記○傳○紙○寇○亂○

五○冠○山○上○一○片○石○、燄○爆○勞○蘆○掃○苔○碧○

雨○打○風○吹○歲○月○深○、龍○獅○存○刻○劃○迹○

貴○說○偶○爾○功○德○貧○一○塔○、好○題○發○佰○

評曰、遣語既奧、寓感殊深、

文藝倶樂部

十一月號

勘六の長胴着（小說）……田山花袋

無用者不可入（脚本）……

△時は金は無……

色種ヶ驛落……西村酔山

黒髪束（小說）……山本柳葉

生恐心中（講談）……島田弔雨

△演藝當座帳……岡鬼太郎

△成田屋九代目……

△名士の團十郎追憶……竹冷、三叉

◎狗の鼻（探偵）……松廼家

◎日本橋の殺人（奇談）……高月

◎縁の因果（人情噺）……西洞生

◎木の間の月（講談）……川口松太郎

◎洛の家……松居龍秋

◎忠臣藏九段目（芝居見たまゝ）……鈴木春浦

◎大學生と藝妓（新講談）……邑井貞吉

東京本町　博文館

朝鮮釀造品評會　一等賞受領

最上醤油

ヤマキチ

京城櫻井町　大正通　山本醤油釀造場　山本榮吉　電話二六〇一番

同共釀造

朝鮮釀造品評會　一等賞（壹）二等賞（式）受領

京城櫻井町　中井酒造場　電話一七七番

京城竹町　田中酒造場　電話九二四番

△冬織物品揃

黒羽二重紋附地（壹號・貳號・參號）　拾五圓八拾錢　拾八圓七拾錢　貳拾壹圓九拾錢

羽二重大巾羽新額裏（イ・ロ・ハ・別上）　參圓八拾錢　四圓五拾錢　六圓五拾錢　九圓參拾錢

千台平袴地（壹號・貳號・參號）　拾四圓五拾錢　拾七圓參拾錢　拾九圓五拾錢

久米名仙縞（四五十歳迄）　六圓五拾錢

流行久米紬（同上）　四圓五拾錢

金巾裏地（花色 活色共）　特價壹圓六拾五錢

實用綿結城縞（大名 柄種々）　壹圓八拾五錢

△送料各拾貳錢▽

冬物類目下の下落相場を以て發賣仕候條精々御下命奉願候尚男女の別、年齢、職業御通知被下候へば見計ひ御送付可申候

京城太平通　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

●家庭の温味を知らぬ

米國に於ける不良少年の救濟事業

∴女監獄吏を採用して少年犯罪者の下調べをせしめてゐる

近年京城に不良少年が發生して警察及び司法當局に於ては之が取締及び救濟に關し熱心研究に勉めつゝ有るを以て ◎余も米國◎ に於ける不良少年及び救濟事業等を視察したるが彼我の事情を比較研究するさ少年犯罪の傾向は略同様の經路を辿る様に思はれる即ち近年激増した京城の不良少年は ◎家庭教育◎ の缺陷と國民教育の不完全に基く者が多く米國に於ても又此の弊害が甚しく社會は此れが救濟感化に多大の注意を拂つて年々巨額の費用を投じて居る、米國は有名の工業國である從つて之れに從事する ◎勞働者が◎ 多いが此等勞働者は何れも夫婦揃つて工場に働く爲め家庭は常に留守勝であるから其の子弟は家庭の興味も母の監督訓育も受ける事が出來ず不知不識の間に不良少年の群れに投じて了う其處で親官ではこれを由なき社會問題として種々の救濟策を講じ政府では ◎幼年囚に◎ 對して小中學程度の教育を授け幼年裁判所を設けて專ら少年犯罪の原因を探究し、改悛の見込ある者は感化院に収容し婦人の巡査をして不良少年の家庭を巡回せしめて常に其の動作を監視せしめ保護者と聯絡を取つて善導に努めつゝ有るなど有ゆる ◎手段方法◎ を講じつゝ有る然し社會の制度と家庭と周圍の缺陷は非常の勢を以て不良少年を造り出して居るから到底之れを根絶せしめる事は出來ない最近米國の識者は物質文明の弊竇の窮まる所家庭を破壊し其子弟の生涯を誤らしむる風俗を ◎根本から◎ 頽廢せしむると言ふので盛んに工場生産を減じて家内生産を普及せしなければならぬと力説して居るが我朝鮮の如きもこの數年來不良少年續出に鑑みて大いに考慮を費やさねばならぬ事であらうと思ふ余は出張前米國の幼年裁判所に ◎女裁判官◎ を採用して好成績を擧げ居る事を聞き渡米後各地を視察したが未だ嘗て婦人にして司法官となつた者なく只監獄吏を婦人から採用して少年犯罪者の下調べをせしめて居るのみであつたから聊か失望した（中村氏談）

□東久邇宮妃殿下 王男子御分娩

東久邇宮稔彦王妃聰子内親王殿下には三日午前二時王男子御分娩遊ばされ長き遊りにも殊の外御滿悦を承はる（東京特電）

◆女子高等普通學校學藝會

京城女子高等普通學校にては三日午前十時より生徒學藝會を催しました保護者の來場數百に達し合唱、朗讀其の他の試驗等があつて午後三時より同窓會主催のバザーが開かれましたが美しい造花やいろ〳〵の手藝品は瞬く間に賣約濟みになつて仲々の盛況を呈しました

◎信貴山丸 一等運轉士歸る

七月二日地中海にて撃沈されし信貴山丸一等運轉士池田半五郎氏は二日午後神戸に歸來せり其談に依れば同船は四分間にて沈沒せりと（大阪特電）

◎紀州大光寺 住職の自殺

紀州伊都郡端場村大光寺住職藤本說師は堺に滯在中腦病に罹り居りしが三十一日同地に於て人の法要を營み閉院寺を突きて自殺を企て二日遂に命を殞せり原因は大光寺の維持問題を惹き之を苦に病みて精神に異狀を來せし結果也（大阪特電）

◎自轉車の盜難が多い

京城市中にては自轉車の盜難に罹るもの多く本町警察署管内のみにても毎日一二臺宛の被害あり多くは郵便局所、銀行、會社等の如き多數人の群集する場所にて僅かの時間中に乘り逃げに逢ふものにしてこれは一般自轉車乘用者の注意を要する所なるが自轉車は殊に發見され難きものゝ一つにして假りに京城にて窃取されたる自轉車は多くは平壤釜山等迄も乘り逃げ殊に汽車線路以外の山間部に持ち去られるものは發見されざること多きを以て自轉車を到る所に放置せざること、所用の際は自轉車を成るべく門内又は玄關内に結びつけ置くこと、又は運轉中止の錠前を施すこと等充分注意を要す、縦令乗り逃げせんとする曲者ありとも窃取する際に幾分の手數と時間とを要する時は容易に持ち去り難き譯なりと當局者は語れり

◎京中見學團歸京

内地見學中の京城中學校生徒職員二十五名は三日朝高麗丸にて着釜午後十一時發列車にて歸京せり（釜山特電）

◎獸肉販賣者へ示達

京城本町警察署にては三日管内居住の内鮮支那人獸肉販賣業者を召集し店舗の設備、肉の貯藏法、肉類取扱ひ人の衞生的注意、肉類運搬車の裝置、標札、許可證等に關する詳細なる示達をなす所ありて現在改良すべきは改造せしめ今後新たに營業すべき者には前記の示達に依り漸次改良進歩を計るべし

◎辱めて強奪

慶南泗川郡西浦面反物行商金水洙（三）は去九月廿八日午前六時頃居村に歸る途中泗川郡柴湖里の渡船中にて道伴れとなりし河東郡北川面西溪里姜玉亭（三）といふ婦人と伴れ立ちて同日午前八時頃晟陽面黙谷里道端一軒屋の酒幕に休憩せんと玉亭を誘ひ恰かも家人が不在なるに乘じ突然玉亭を突き倒して辱かしめたる上腰に下げ居りし非晦在中の巾着を奪ひ逃走したるを被害者玉亭より斯くと憲兵隊に訴へ出で犯人を捜査中此の程逮捕され目下取調べ中なりと

◎電車に衝突

三十一日午後一時頃白十三號電車が本町五丁目より舟橋町を進行中櫻井町二丁目松田きよ（六九）は電車に衝突せしも救助網に救ひ上げられたり

美くしい聲、撥の冴え

∴壽座の正聲會秋季温習會∴

◎杵屋正三郎を中心とする正聲會の秋季温習會は二日の夕景から壽座に催された。何しろ幾さに拒る連中の季花會と中券京城券連中の會があつたあさなので、正三郎一門の温習會であれば前二者のやうに ◎券番を◎ 賈つてゐない だけに餘程骨が折れるだらうさは思はれたが、幸ひにして吉田原次郎氏が正聲會員といふ縁故からサッポロビールが一脱設で諸嘛嵐端都合よく運び、豫期の通りの大入滿員は先づめでたし。番組は十八番からあつたが時間の都合で二ツ三ツ端折つたのは已むを得ない。私の這入つた時は丁度五番目の『末廣狩』が開いてゐて花龍、若子（花月）の二人が淑やかに踊つてゐた。機敏な一わたり見渡すと蕭者連中の外に良家風の婦人連が可なり多く見受けられる。仲々の大入時にも拘らず、例の老錦次の大鼓が『誰やらさん』上手おまツせ』などと觀衆の喝采を投げて居た。

◎末廣狩 が綺麗に舞ひ納められると『松の錦』に移つた、立唄の久子（富美廼家）よりはツキの太郎（花月）の持前の美聲から生れる丸味のある艶のある節が捧る。立三味線の千代松が、差支へで、正三郎が代つて弾いたが、ツキてゆくところは有難いと思はれた。弄妻八寮は聲抑無しであるに拘らず張りが面白く聽いた。立唄のたか（花夜登）の秋唄は格調がいゝだけに底力のあるいゝ聲が先づ人を牽きつけたらしかつた。唄も三味線もよく揃つてゐたのは稽古の賜だらうが

◎別して 三味線では上調子に廻つた桃太郎（喜羽家）が立三味線の福助（富美廼家）に對して掛け目に〳〵に彈いてゐたのはよかつた。この中に交つて餘可愛さうに見ゐたのは智恵子（辰中）のツキ三味線で辛じて拵に附いては行つたものゝ、些し恨み入つた合の手などになると大分寮調子が苦しさうでハラ〳〵させた。蔭人の修業にはなるだらうが、矢張りまだ顏でも踊らせておいたはうが無難だと思ふ。四季の山姥は立唄でもの（花夜登）の『同じ思ひは

◎鳴く蟲◎ の、松虫鈴虫轡虫』のあたり艶ツぽい節廻しさ節つきのあるふつくらさ來が味のある聲に大向ふを唸らせ、ツキの秀奴、ゐんもよく唄つた。『多摩川』は秀奴（花月）の獨吟で三味線は燕代、繁信、秀奴のすづきりした張りのある美しい聲、こなれた節廻しは流石代の確かりした三味線によつて一層引き緊り鳴物入りの賑かな『四季の山姥』のあとを受けてしんみりさした情調を漂はせたのはお手柄といふべきだつた。次ぎに立方に桃太郎の狂女、千代松の舟人を捌えて唄に福助、立）若子、太郎、菊代、三味線に正三郎（立）十郎、染吉、伊達子その、鳴物に南千代、すみ子を持て來た

◎隧機帶 は何んさいつても當夜の贓答だつた。正三郎の悠々迫らぬ餘裕さ味のある撥先からは、いかにも大まかな綺麗な音色が氣持ちよく流れ出て、腰立てよく大番に弾いてゐながら合の手などの鮮かさ、それでゐてツキの連中さよく調子が合せてゆくあたり唄を引立ててゆくところ、若いに似合わ確かなものと思はれた。正三郎の三味線と共に滿場を佐藤させたのは立方の桃太郎さ千代だ。千代松の舟人の一手おろそかにせぬ神妙さ、それさ絡む桃太郎の軽妙洒脱、更に圓熟自在

◎派手な 內におつさりしたところのある、踊りとは古いやつだが花に戯むる蝶々の姫を唯だ廣い舞臺な應々狹からしめた事があつた。これがすむさ所用のために失敬したが當夜は三三の例外な除いてはすべて出演者の呼吸がよく合つて居り、藝妓連中が主として勤めた鳴物も各番共に好い出來だつた。始めての温習會さしては先づ大成功であつた。（せいたらう）

◎興行主へ注意

京城本町警察署にては三日管内居住の劇場活動寫眞館等の興行者を召集し營業上に關する注意を與へたり

◎下水溝で頓死

京城蓮池洞光敬丹姜氏（六七）は一日午前一時頃泥醉して同洞の下水溝内に陷落して死亡し居るを程經て發見し鍾路署にて檢視の上死體は家人へ引渡さる

◎河豚中毒

釜山寶水町二丁目文房具商三浦夫妻は二十九日夕食の際河豚を食し其儘就寢せしが翌朝三時頃に到り夫婦とも激しき腹痛を覺へたるより早速河豚の中毒ならんと早速附近の醫師の應急手當を受けしも夫は遂に絶命するに至り妻は幸く助かりたりと

◎親子同所で轢死

忠南燕岐郡全東面九湖里姜某の孫（三）は十月十五日午後三時頃自宅前の京釜線路内にて遊歩中北行貨物列車に觸れて頭部を粉碎し死亡せし然るに德煥の實父某は昨年の同月同日同時に同所にて轢死を遂げたる由にて德煥の最後をたるなりと

◎十運車に觸る

慶南咸安郡甲谷面内洞金成石（三）は慶北郡安心面司福洞に於ける輕鐵工事の土石運搬夫として雇はれ從事中十月二十三日午後五時頃一輛の土運車に土石を滿載し外一名と共に停車器の備附けなきを該車に搭乘して同地鐵道線路踏切附近の坂路を疾走中折柄通行中の同地居住于乘周（五七）を轢き倒ほし全身數ケ所に重輕傷を負はせ遂に死に至らしめたるため過失致死として咸石は同地警察署に引致され取調べを受けたる末大邱地方法院檢事局に護送されたり

◎少女を誘拐す

全南光陽郡津月面馬沙里金致德（三）は求禮郡良文面月山里住朴淳今の長女李禮（一）を京城に連れ行き女學生にしてやると誘ひ出し京城に行きて北米倉町娼家村俊泰方に娼妓として賣込み身代金六十圓を着服したる事發覺し光州地方法院の公判へ廻されたり

大演習の前

大阪にて　青霞生

◎航空大隊の出發

…特別大演習に參加する陸軍航空…は今回の特別大演習に於ける両軍の上に見るも飛行機と戰爭の關係に顧みなるもらいこなれり、されば今回の特別大演習に參加する陸軍航空隊の飛行機は十二臺にして、其…際の飛行機は十二臺にして、十六年型モ式複葉ダイムラー（百馬力）なるが操縦者は百二號（益田）百三號（阪口）百四號（神谷）百五號（西村）百六號（和田）百七號（服部）百八號（野田）百九號（中田）百十號（麥田）百十二號（小田）百十三號（下田）等にて大阪なれば七日午前六時より一…に分ちて…の間を置き全部所澤を出發箱根御殿場名古屋を經て岐阜に向ふべしと

◎兩軍の根據地

…の探る所によれば東軍は滋賀縣大津に於ける西軍は京都府下深草練兵場なり、審判官は鳴海、有川の兩大佐、…統監部は竹田中佐、內交通團長、益田少佐、南軍は隊長中松少佐、副官野口中尉、中隊長石川大尉、材料係松岡中尉、操縦將校有田、嵯峨、渡邊、安達、坂口、西村、菅田、川端、中山各中尉、北軍は隊長大田中佐、副官田中中尉、中隊長佐藤大尉、材料係武田（恕）中尉、操縦將校小島、麥田、瀧川、徳永、神谷、野田、服部、和田各中尉、下田少尉にして十一日より豫備飛行をなすと演習に際しては操縦將校の外に偵察將校又は觀測將校を同乘せしめ主として各種の偵察任務に服すべく、飛行機の數は前年より少數なれど其實蹟に於ては決して前年に劣ることなしと期待せらる

◎琵琶湖畔の觀測

琵琶湖を挾擁する滋賀縣下の氣流に就ては日本に於ける第三、第四、第五、第六氣象區の分岐阜に屬し即ち夏期に於て滋賀縣一帶の平野は表日本の天氣狀態にあるも冬期に入れば湖西は北小松より湖東、能登川に到る延長線の以北は全く裏日本の天氣狀態を示し加ふるに漫々たる大湖に近く屹立する伊吹、比良、比叡の連峯は關ケ原若くは逢阪山の上層氣流を可なりに錯雜せしめ飛行機操縦上格別の注意を要するは從來の例により明かなる所なり

♣伊吹南東の嶮

實には大正四年所謂所澤大阪間連絡飛行の際にも其翌五年飛行船雄飛號の飛行の際にも關ケ原より伊吹南東の嶮を越ね、琵琶湖を横斷して逢阪山を過ぐるまでには大に注意を拂ひし所なり今回の大演習には湖東の平野の上空を縦横に飛ぶを以て彦根測候所にては新に二臺の經緯儀を購入して二點觀測をなすべく之には軍用氣球研究會にても彦根に事務所を設け中央氣象臺長中村理學博士等も委員として之に當るといふ（つゞく）

讀者文藝（一句に付三句以内）

△下句付『ぷん〳〵と』　元山埋湯六　内山

▲——ぷん〳〵と言ふ女房が家付き　利川　守山
▲——おこつて見たがに…　京城　小雨蟲
▲——怒るす給にす擧させ　利川　ふの字
▲——萠え…野鬱も自暴の盃　中　多榮郎
▲——さ姑は殺に八ツ當り　下關　六兵衛
▲——…つてすぐに後悔し　龍山　天賓

◎田中判事母堂の訃

京城地方法院判事刑事部部長田中芳春氏母堂その子は二日午後七時永眠せり葬儀は五日午後四時三十分東大門官舍出棺南山本願寺に於て營む可しと

讀者文藝課題及募集規定

締切　發表

□募集規程 ▲用紙は端書又は同型の用紙一枚毎に必ず上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間後▲種類の異る…

●迷信から

大邱府南山町居住金致…は病ひ癒ゆるとの迷信より夫が思ふ一心にて…我れと我が股の肉を削り取り…

●聯絡船上陸客

二日午前八時五十…新羅丸二二…

大阪期米

三日後場　當限寄付〈二十…〉

ね二十八錢二節中四十七錢なり六七錢六錢七錢平均値四十七錢●節錢あり七錢先安十九錢より七錢と三十五錢四錢三十錢二錢一錢二錢辿り三節大阪安移りに二十八錢上三錢二錢三錢四錢ら崩れて二十錢を拔き跡二十錢引◇先限一節十九圓二十九錢三十錢…

商況

◎債券現物特電

[illegible]

東京公債直取引

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

◎三品更に好勢

前日小甘さ成行きなりし三品も今朝綿布の好勢に現はれ…米棉十五錢高…約八圓方昂騰し…布現物は前日より二三銘先物八圓九十五錢さ頗る穩健の成行…

◎正米依然強硬

正米は昨今各地の…依然として前日の高値を維持し…地場賣人は却々手強き態度にて…農繁に基因せる一時的の現象なれば…

◎鐵材は剰落

[illegible]

◎莊子は不作

…米・大豆逆鞘…

◎實收見込平年約三分の一

…十錢に上げ…一圓二四…

◎哈市人氣平靜

[illegible]

◎白米稍々亂調

…八十錢處…二十一圓…

◎仁川在庫穀物

仁川在庫穀物一日の現在高は左記の如くなるが之を去月十五日の現在高に比し…白米…玄米…大豆…

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（二日）

正米（三十錢高）出廻品稀薄の折柄とて今市場は賣り物薄の爲め…

生魚市場

…

◎三日前場 仁川期米

[illegible]

◎大阪天候

晴天…

十錢さ十四錢安に

三錢大下放れ入…

八錢の入電…大阪六節二十一

不勢の裡に下…

▲市場雜觀

…十七錢さ大跳れ返し…二節は忽ち…

▲下關相場

[illegible]

仁川豆取引所 三日の一月限

[illegible]

白米標準値

二十三圓二十錢

小賣白米

現金賣　一等白米　二十三錢五厘　二等白米　二十三錢

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話三三七番

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　豬飼政太郎　電話長一三九番

仁川米豆取引所仲買人　十一仲買店　電話長九一番

仁川米豆取引所仲買人　丸三仲買店　主任西川平治郎　電話長一五九番

廣瀬商店　確實迅速

仁川　仲買店

仁川　大和商店

天氣　曇り（三日午後六時迄）　十一月四日

日出　六時五十四分　日沒　五時二十三分　仁川滿潮　午前八時三十分　午後八時三十六分

仁川

今三日後場 中限一節十九圓四十五錢より八錢と引先限十九圓二十九錢と三錢高に寄付三十一錢と跳[illegible]れて大波瀾を演出したり後場中限一節十九圓四十五錢六錢七錢八錢平均値九十八錢二節四十[illegible]十八錢七錢五錢[illegible]錢十九錢八錢九錢[illegible]十錢四節十錢一錢[illegible]一錢[illegible]錢十九錢[illegible]

[illegible]今は歩行も自由ならぬ[illegible]洗ふが如き有樣なるも金先[illegible]已に[illegible]庭にて一家五人の日々の糧を稼ぎ居る有樣にて其日の糧にも追はれ勝ちの模樣にて良策なき折柄人の[illegible]な指者に喚はしむれ[illegible]已は相守つて金を[illegible]が金治迄には一ヶ月位ひを要すべき見込なりさ（大邱）

◎朝鮮製帽の前途（三）

―鮮婦人絶好の副業として―

本事業の將來頗る有望なるは既に前數回に記載したる處の如し、而して其の原料たるべきワングルが今日既に製帽に使用さるゝ迄に精撰漂白、加工の方法を講ぜらるゝに至りたるは實に中央試驗所に於ける熱心なる研究の結果にして若し本事業が豫期の如くに發展を遂げ鮮婦の經濟に裨益するところ大なるものありとせばそは實に

▲中央試驗場 に於ける技術者と之が植栽に多大の研究を加へられたる水原模範場白坂技師を初め水田部技手等の功績與つて力あるものと云はざるべからず而して本事業を擁護し朝鮮産業の爲め之が發展を企劃せられたる後援者の如きは最も卓越せる事業の先驅者として多大の敬意を表せざるべからず現在にては鮮人

▲男女三十名 に對し雁皮紙原料を以てワングルに代へ編織の技術を修得せしめつゝあるが其進歩發達の技能は實に驚くべきものあり由來鮮人は斯の如き緻密の手藝に至つては天性の技能を有する者の如く練習的模造パナマの如き其の製品は殆んど紙製とは鑑定し能きほど巧妙を極めたる物あり斯の如きを以て其發達も意外に速かに昨今にては既に修得者中十三名位は

▲完全に編織 を爲し得る所謂一人前の織工たるべき者を得たりと其他仁川分監に於ける在監囚徒六十五名に對し流球人金城榛權を授業手として毎日製織を爲さしめつゝあるが成績亦頗る良好にして十一月中には其の從業囚徒を百名に増加せしむべしと云ふ製出能力に就ては最初は僅ほ一個の仕上げに五日乃至一週間を要する者あれど漸次進歩するに從ひ其手捌きも速かに最近にては

▲一個の製織 三日を要すれば足れりと而して之が編織は鮮婦人に從事せしむるを最も適當なりとせらるゝを以て將來は婦人の副業として專ら之を授くべく事業の擴大せらるゝと共に現在技術を修得しつゝある者は一部の鮮民一般の經濟を向上せしむべき目的に在りと斯の如きを以て本事業の發展に依り地方鮮婦人の確實なる一の副業を與へらるゝに至らば貧困なる

▲鮮民の享受 すべき利益は亦重大なるものと云はざるべからず其の勞銀の如きも一日僅に二十五錢には相當すべく手腕ある者に至つては或ひは三十錢に近き報酬を收め得るに至るべしと、而して其製品は優秀なる物は一個二十圓以上の價ひを得べく平均十八圓位の價格を以て市場に提供せらるべし尙ほ同所が原料の取扱ひに關し

▲最も經濟的 に考案せるは單にワングルの皮のみを以て製帽するに非ずして其芯をも之を精撰し特種の技工を施して遺憾なく原料に使用し芯製帽子を作成しつゝある一事なりとす、斯の如きは未だ其例を見ざる處にして同所の卓越せる而して有利なる考案なりと云はざるべからず、本事業の將來に就ては後援者に於ても既に事業計畫の成案あるが如く近く之が發表せらるゝの日に逢著せば仁川の事業界亦一段の活況を見るに至るべし（仁川▮光）

◎東拓滿蒙進出

東拓高瀨理事談

東拓の滿蒙進出に對し在滿日支官民の意想外なる好感を以て迎へられたるは弊社の最も仕合せとする處なり正金銀行の特別貸出金二百二十五萬圓引繼ぎに就きては大體中央に於て交渉を了したるを以て今後は奉天及び大連の各支店に於て各債權者との間に於て契約改訂を行ふのみとなれり

▲貸出金利率 に就きては未だ具體的に決定し居らざれども要するに從來正金銀行の貸出金に比して債務者側の利益と便利とになる事は勿論なり滿洲の特別貸出金は朝鮮に比して短期のもの多く十月一日より奉天大連の支店開を爲し日未だ淺きに拘はらず

▲申込頗る多 く殊に大連支那に對しては市内各居住の支那人側より比較的多數の申込みを受け居れり我社は之等申込に對しては充分に其の希望を容れ貸出に應ずる筈なるが何分未だ新らしき土地の事とて相當の

▲調査研究を 要し尤も直ちに貸出申込みに對する遲延を免れざるべし朝鮮に於ては漸次能[illegible]に貸出を爲すに至れるも之等は初期の貸出に於ては充分の調査を遂げざりしため多少の損失を受けたる事あるを以て之等の點に就き充分の調査を爲す筈なり（奉天）

◎福原將軍曰く

本溪湖の苦戰談か

汽車が大煙突の煙に燈火の閃めく本溪湖を過ぐる頃、滿洲の獨立守備隊司令官福原少將に食堂でお目にかゝる十月廿八日司令官曰く「滿洲の獨立守備隊も今年からは現役兵でやることになつた、從前は豫後備の志願者から採つたがそれでは非常に經費も要るから今年からは現役兵を當てることになつた、何分兵は滿鐵全線に擴がりそれには乘馬歩兵といふやうな特別な隊もあるので教育に骨も折れるが、併しみんな頑健で何よりだ、なに、本溪湖の苦戰談か、自分は恰度十二師團の參謀少佐で此の邊に居たが隨分あの時は苦戰したもんだよ何分こちらは梅澤支隊を加へて一個師團半の兵力しか無いところへ敵はスタケルベルグ大將麾下の五軍團（ツマリ十個師團だね）が殺到して來たから堪らない、我軍は既に一人の豫備兵もないところへ敵はモウ四十米突の近くまで肉迫して來て一擧にわが右翼を擊破して遼陽を突破しようとしたものだ、當時大山總司令官は『三日間持久します』の報を得て一擧主力を以て敵の中央を衝かれたのぢやが諸り沙河の會戰はわが軍が敵の作戰の裏をかいた譯さ、併し當時旅順の陷落で士氣を鼓舞するやら增援隊の代りに『貴下の忠勇に信賴す』と勵ましたりしたことを思ふと感慨無限といふ次第ぢや、其處へ閑院宮殿下が自ら騎兵隊を率ゐて突進されたので助かつた、先般も露西亞からお歸りの大將宮殿下に公主嶺で拜謁し『本溪湖を御覽になつては……』と申し上げたところ殘念だが夜になると仰せられた、十年一昔しさ、早いもんだな……』因に福原少將は四十一年頃朝鮮の大田に駐劄したんである

◎仁川の菊

品評會は五日頃

今年は花數が少なくて幾分淋しいのと出來は惡るくはないが不具の花が多いのとで觀賞家の失望が夥だしい所謂菊天狗は隨分多いが眞に眼識を備へて觀賞する通人は屈指に足らぬ位ひで其他は格構法式を度外して唯美しくさへあれば好い素人筋の連中が多い樣だ

◇最近流行の花形◇ は何かと云ふと先づ第一に管物で成るべく重ねの厚ひ內抱へて、走りの極く發達したのが賞される、然し中心に粟がなく吹詰咲は好ましくはない、勿論滿開後でも花形が崩れね、そして變色しない物が喜ばれる、次には單鮮一文字咲で之は最も色彩鮮明で花瓣廣く花先が舟底形になつて居るのが好い殊に粟が極少さいのを良とする

◇山菊は近來の流◇ 行花であるが其の粟が少さくて花か又直徑一寸位ひに過ぎず花瓣一重で馥郁たる香氣に富むであるのでよく懸崖に仕立てゝ非常に賞翫されて居る、仁川で山菊と云へば小學校の小笠原氏で到底此の山菊の培養に就ては氏に及ぶ者はない京城で幾ら何と云つても此の山菊は仁川が一等で外に優等な逸品は見る事は出來ない

◇今年一番の作◇ つて[illegible]も相當の出來榮ねにあるのは新町の上月氏で數から云つても逸品の揃つた點から云つても仁川の菊を語るなら先づ氏の花を觀せねばならぬ紅、黄、紫、白と[illegible]二三[illegible]、[illegible]庭[illegible]に咲き揃ふのは五六日頃[illegible]島の植木屋さんでは今年は千何百[illegible]かの花が出來て相當に[illegible]るが之は技巧を要でなく悉く[illegible]類のもので一鉢二十錢以上四五[illegible]に一鉢を置きたいと思ふ人には便宜である、[illegible]來る五六日頃に今年の逸品の一二を持ち出す事にして催ふしたいと目下協議中である（仁川）

◎崇義紛擾落着

過般同盟休校中なりし平壤崇義女子中學生徒は百二十名復校せしが同校なるスノーク孃は今回の事件に關し人に語つて曰く生徒が教師を排斥すると云ふ爲めに盟して休校するとは甚だ間違つて居るので教師ことは生徒の教師にあらずして學校の教師である以上は生徒は其教師に對して敬虔の念を以て事へなければならぬ校長たる私は生徒が如此こゝに一人も出席せざるとも何等痛痒を感じないと已に百二十名の生徒は前非を悔ひて復校を願出でたれば出席を許したるも其餘の百餘名に對しては本學期中は絕對に復校を許さぬ方針なり父兄より格別の依賴あるも來年の新學期より更めて入學せしむべしと云ひ居れり如何にも强固なる意志を仄めかし居れり（平壤）

◎大連雜俎

▲滿鐵●[illegible]究所三本武重氏は十一月二三日頃より滿洲線全線研察の爲め約二週間の豫定にて出張すべし ▲大連●[illegible]前の[illegible]支店開設の爲め出張中の[illegible]二十九日歸連十一月十日前後本店と打合せの要務を帶で京城に赴く筈 ▲元滿●鐵社員[illegible]三郎氏は今回[illegible]拓參事として大連支店に在勤する事となつた ▲滿洲●[illegible]株式會社[illegible]に關し[illegible]氏に十一月[illegible]にて[illegible]を[illegible]し[illegible]十一月[illegible]開始十月三十日を以て[illegible]切りたるが其の買上高は[illegible]九十六錢[illegible]石六斗一合代金千三百九十八圓[illegible]合計[illegible]百十九石六斗三升三合代金[illegible]五千八百八十九圓九十九錢[illegible]數三億五千八百八十九萬九千匹の代金一萬[illegible]である（大連）

◎京倶庭球大會

四日京城倶樂部庭球部に於ては總督府裏コートに於て午前八時より秋季庭球大會を開く筈なるが京龍の重なる選手（十組）出席すべし

雲外國語夜學會

京城大平通り二丁目工藤辯護士事務所跡に於て外國語夜學會を開始する由なるが講師は工藤氏兄弟三人にて課目は英獨佛語にして中學卒業生以上の希望者歡迎なりと

神社と寺院

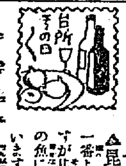
○京城日本基督敎會（長谷川町）四日午前九時日曜學校同午前十時禮拜說敎「[illegible]」午後七時[illegible]

○[illegible]敎世軍の集會 十一月四日（日曜）午前[illegible]

○メソヂスト敎會（旭町二丁目）四日午前九時十五分日曜學校同十時半禮拜說敎「永遠の生命」[illegible]

○日本組合京城基督敎會（南米倉町）十一月四日午前九時日曜學校及び聖書研究午前十時禮拜說敎「使命の自覺」宮川牧師

○妙心寺提唱 臨濟宗妙心寺別院にて午前十時より大顯[illegible]



▲昆布しめ 是は鯛が一番よろしゆうございます其他鰤等の如き白身の魚にても宜しゆうございます先づ刺身に作りまして極く淡く鹽を撒り丼の底に昆布を洗つて敷き其上に刺身を並べ其上に又昆布を敷くと云ふ風にして三時間位も置きますと昆布の味が魚について鹽加減と云ひ香氣と云ひ味と云ひ仲々結構なものが出來ますそれを刺身の様に皿へ盛り小丼なりなりに入れ[illegible]酢と山葵を添へて供します

演藝案内

稻荷座 本町五丁目 芝居尾上京十郎一座 浪花節[illegible]十一月四日の替り[illegible]浪花の俠客[illegible]高野山女人堂 ▲前[illegible] ▲切[illegible]

有樂館 東京[illegible]早川[illegible]活動寫眞常設館[illegible]

浪花館 京城旭町[illegible]電話二六〇[illegible]

大正館 櫻井町[illegible]電話八七三[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 ▲東京新時代劇愛澤正義一行[illegible]

黃金館 電話二二六三七・二二六六[illegible]

[illegible]

轉居 京城大和町二丁目四號官舍 村田素一郎（電話四〇八番）

石炭 明治町一 村山商行 電話一〇五一

自働車 一臺 ダライ盤 ボール盤 右至急賣却す御希望の方は左記へ御來談を乞ふ 京城黃金町二丁目一四八 岩田仙太郎 電話二九四番

內科、眼科、小兒科 本田醫院 京城黃金町二丁目 電話二四四三 院長本田建[illegible]

痔核。痔瘻。裂痔。痔出血。脫肛痔 直腸脫 京城肛門療院

大正館 家庭悲劇 小松島 五卷 日活會社最近の撮影 探偵活劇 女探偵 三卷 米國カレム會社近作 舊劇 桂川力藏 四卷 尾上松之助大努力劇 成田利生記 寬永橫綱 好評如沸 初日滿員

字さがし 懸賞 規定 問題 關谷商店 方振 金指輪呈進

職業 婦人 女子[illegible] 日收壹圓 特約店募集 大阪北區[illegible] 二葉商會

公告 大正六年[illegible]

稻麥扱 進呈

漆器 靜岡 丸五漆器店 京城出張所 京城本町二丁目 御用命願上候

鑛區買入 各鑛種 許可權共買入申候 京城旭町一丁目 二友鑛業事務所 電話九五五

試金用品 坩堝 販賣 白上商店

白神洋行 ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、滑車、ロープ、機械、工具 鐵材 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 京城

急告 近來同業者中に弊社の名義を詐稱し電話又は訪問して葬儀の請負供花の寄贈を强請する者往々有之候に付御注意被下度候御用命の節は一應御確め上御電話を以て御用命の程願上候 京城葬儀社 電話一五六七番

模範 牛乳 ニウソ 石鹼洗粉 太正 肥塚 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

內科 小兒科 入院隨意 京城府明治町二丁目（本町江戶川橫より入る）電話三七八番 中島醫院 院主 中島貞信

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八四一 九四五四番 振替京城五七番

南鮮代理店 藥種商 水浦府福山町 菅辨助

純蔘精製造發賣元 高麗人蔘製劑所 朝鮮京城府黃金町四丁目 電話二五九九番 振替京城四一三六番

藥種賣藥卸商

(K) 仁川本町 京城本町 永樂町角 北島藥店 北島藥店京城支店

醫化學器械一式

鞄製造販賣 皮より強い値の安い 專賣品柳製鞄 日ノ丸商標 毛布二枚續き 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

優良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二 振替七三

耐火煉瓦 ▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）▲シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）▲ダイナス煉瓦 ▲ヤケネシヤ煉瓦 ▲耐火モルター其他 耐火物各種 平壤府橋口町（電話二五番）合資會社 京谷商店

左甚五郎

第七十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

本淨寺の住職が心中に 本「楮は態な取り上出て來るによつて大切た品と見ねる、本人が出ないで諏訪町の大工の甚助といふ者が來たが「ハテナ」と本淨寺が考へたが、あう其の時分には甚五郎の名前は大評判でございます、甚助といふので本淨寺も氣が付いて、是は諏訪町の甚五郎ではないかと思つた、乃で諏訪町の甚助を云ふ大工を調べて見ると是は名人の甚五郎後勝であつた、イヤ本淨寺が驚いて 本「宜し、自身に取りに來るからと云ふて歸つたのだから、彼の甚五郎が來るであらう」と相待つて居ります、とは知らずして甚五郎は門跡樣へ何處までも三五郎の縁者大工甚助といふので龍を受取に來た最初と違つて此度は本淨寺が洵に叮嚀にして茶煙草盆菓子等を出して段々の話しになつて、俺甚五郎と云はれた時に 甚「イエ私は甚助と申す者でございます 本「イヤイヤ包むには及ばん、名人甚五郎さ云ふことは承知して居る、俺が折入つてお前に頼みたいことがあるが聞いてくれんか 甚「洵に恐入りまするが、私共に何か 本「お前が今日受取りに來た唐破風の龍であるが、洵に本淨寺が申譯が無い、お前の細工とは氣が付かなかつた是は決して俺も他言はせんから

と彼の詐を讃つてくれまいか 甚「エ、お祭りの前でございますが、それはまア三五郎の拵へたものですから、貴下が欲しいと御仰るのなら、私も縁者のことでございますから、本人に能く申し聞けまして差上げもいたしまするが、萬一本人が何と云ふても私が受合つて貴上に差上げますが、又お祭りへ私が一ツのお願いがあります、それをお肯き下されば決して否は申しません 本「それはお前の方で何ういふ賴みかは知らんが俺の方の話しを肯いてくれたなら俺の願くだけのことはして遣ろ、何ういふ譯だ 甚「左樣、今度の御普請に就きまして龍だかシヤコだか判らぬ樣な物が出來上つたに就て三五郎が仕事がして居れない樣なことになつたんですが、如何なものでせう前々通り三五郎に本山の大普請相變ず出來る樣にして遣つてくれませんか 本「宜しい、承知さて本山のお指圖があるによつて仕事をして居る、今まで三五郎も仕事をして居た者であるから其のことは俺も承知をする、何うかあの龍を讃つて貰ひたい 甚「ヘイ、如何にも承知いたしました、宜しうございますと云ふ譯で三五郎に前々通りに割つて、互ひに仕事にかゝることになつた、然るに此度將軍家から御沙汰に相成りまして門跡の大普請は是非共湍島町の三五郎と申す者にいたさせイといふ御沙汰、是を聞いて作事係本淨寺も大きに喜びました、本山へ何とでも云へろ、將軍家御沙汰といふのでありまして京都大工棟梁坂本春重へ手當をいたして京都へ歸すことに相成りました、門跡の大普請大久保彦左衛門の骨折と甚五郎の骨折をもちまして改めて三五郎一手で仕事にかゝることに相成つた、三五郎も大きに喜び女房おきんも夢ではないかと思ふばかり、素より本統の病氣ではない、氣を打つて病氣になつたのでございますから、此の事を承つて早速病氣は全快をして大勢の仕手方を伴れて門跡の大普請に非用度かゝるといふことになりました、又本淨寺は甚五郎が承知してくれました處から喜んで表門の欄間より龍を取外して床の間の置物にいたしました、未だに遣ります甚五郎後勝が心を籠めて彫上げました野嵐の龍と稱へまするは是でございます。

高麗人參エキス は品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
京城府明治町一丁目 **小笠原大藥房**
電話一九四八番 振替京城一三七五番

外科・一般皮膚科 泌尿器科・花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町三丁目金光教會隣
安部醫院
(電話一一九)

曆

十一月五日 九星
舊九月廿一日 辛亥
本命四緑 暗 大安

△四緑 旅立のためよからず 新市見合北方は吉 △五黄 大いに離諍を起さんとす △六白 手術旅行は吉倘今を謹まるべし △七赤 思悪運を生ぜんさす △八白 移轉は吉貿發に用心せらるべし △九紫 上品なる… △一白 大なる金談手の… △二黒 間に合はぬ… △三碧 … [illegible]

流經新藥レスノリン

月經 閉止四五ケ月以内に於ける本品の作用は確實にして其効果は容易く應用の目的を達し一週一圓一回分… 手數料郵稅等一切増額無し… **流經**

海外郵便切手代用一割増 大阪北區曾根崎上一丁目三六 發行所 常盤藥院

りん病 急性慢性を問はず新發見の最新藥配合にて淋病を治す…七日分一圓二十錢…
京城黄金町三丁目 振替京城三二七番 吉田文殊堂藥店

腦病と養生法

「神經衰弱ヒステリー(血の道)」の不安に襲はるゝ方の御參考迄に

◆問 夜眠られず朝は頭が重くて困ります

◇答 夜安眠が出來ないと云ふのは腦神經系の機能に故障が來て大切な休養を妨げる結果でムいます。寝る前に冷水摩擦又は沐浴する事、刺戟物を攝取しない事、精神を一事に集注する事等も必要ですが、第一に腦神經衰弱の根本的治療を行るのが肝要です。遅れると益々重くなります。

◆問 近頃頭が重く… [illegible]

◇答 神經衰弱の初期でもあるのでせうか。… [illegible]

◆問 記憶力減退の救治法如何?

◇答 之は急に直す事は困難ですが… 結果家庭療法が一番効果があるさうです。詳しくは常持醫學士著腦神經衰弱救治法… [illegible]

▲腦病養生三訓

一、容態を輕視せず充分用心する事 時々頭痛するのは腦が不健全な證據で居るのが一番危險である。

一、徴候を見遁さぬ事 不眠症などの兆候があつたら直ぐ權威諸大家の賞讃せる腦良劑レーベンを用ひなければならぬ

二、病氣の性質を自分で辨へる事 腦病神經衰弱とは何かと云ふ事を自分で知つて置かないと往々誤つた療法をやつて快さころか益々惡くする事になる。

三、藥の選擇を過たざる事 腦病、神經衰弱の藥も漸く數多くなつて來たが絶對に信頼の出來る藥は甚だ鮮い。で若し迂濶に粗惡の藥を用ひては飲む時は何程飲んでも惡くなる一方で治る事は莫い。

◎腦病の治つた話 神奈川近在の或老人の直話に『道樂が年寄になつてから腦病に罹つた、醫で治す途もない樣だが怎も我慢がし切れなくなつて困つて居つた折柄、レーベンの廣告を讀んで其通り實行た處が運よく治つた』と云ふ事であつた、老人でも子供でも頭が惡くては仕樣がない、殊に若い連中の間には神經衰弱が大流行で

■醫者の話によれば■『神經衰弱に罹つて居ない者は一人もない只病氣の程度の差である』と云ふ位で社會は一日々々生存競爭が烈しくなつて行くから此病は蔓延する。醫學士常持爲治氏が半生を費して發見を遂げた腦病良藥レーベンは頒布以來幾萬人を救治して居るか判らない、岡田博士森醫學士を初め陸海軍諸大官が異口同音にレーベンの學問的實際的の効果を證明し推賞して居られるのを… [illegible] ない。

▲レーベンは純植物性の藥劑を併し米食の日本人の體質に適合す

▲レーベンは最も高價なる燐酸を多量に含有し腦の要素を補ふする

▲レーベンは最新式の機械を以て製劑せられたる唯一の腦藥品である

此三點が天下に誇稱して公認を得た最も根據強き特徴である。

◇人生の悲慘事！

これからの世の中は何をやるにも頭である。然るに神經衰弱の病などに取つかれると、いつの間にか氣力が消滅して一つ仕事に附ても頭が重かつたり痛んだり… 症に陥るのみならず五臟六腑も弛緩して眞當になり何も… につかないから氣が焦り… ぶつて怒り度くもなる、然し… 力が減退し自信力がなくなるか… 鬱症に捕はれてヒステリー(血の道)の氣分になる、此種の悲… 他人の成功立身を羨み妬み悶々… 嘆にして悲哀の境遇に沈淪するのは識に人世の悲慘事ではないか！

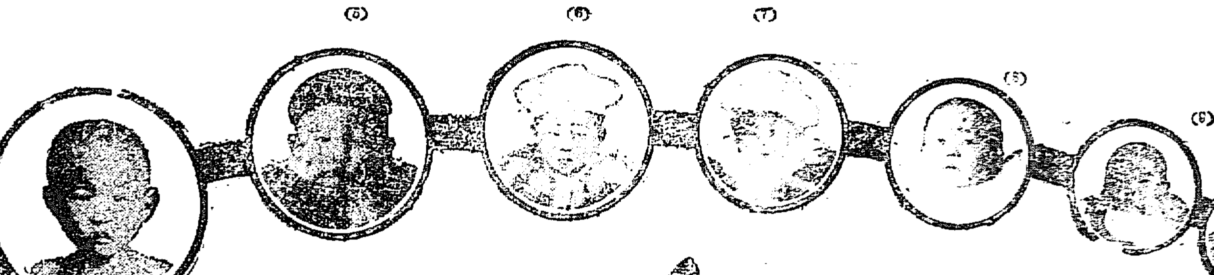
◇あなたを幸福にする途はあなたの腦病あなたの神經衰弱を治すことにある、換言すればレーベンを御服用になれば宜い

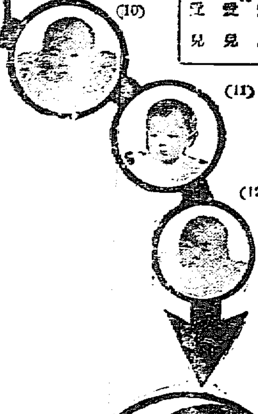
レーベンの服用を直接お勸めする前に常持醫學士著腦神經衰弱療法家庭神經療法の二書を進呈し度い。○切手二錢封入東京市日本橋區通油町廿二號廣藥院中南宗太郎宛御請求込あれば直ぐお送りする。

◇謹んで御忠告申上げます 最後に重ねて申上度い事は腦神經衰弱は經驗上家庭療法が一番でムいます而て藥は最も信用ある良藥をお選びにならなければ不可ません。

それには絶對の價値を學者及び一般世間から得て居るレーベンを責任以て御勸め致す譯でムいます。

藥價は五十錠入八十錢△一圓六十錢△三圓△五圓五十錢で信用ある藥店は之れを備へて居る筈である





(1) 埼玉縣秩父郡中川村 宮崎富五郎氏夫人
(2) 十勝國中川郡本別村ピリベツ 宗内氏愛息
(3) 高知縣高岡郡梼原町 西村氏愛息
(4) 鹿兒島縣始良郡本城村宮山 有村さめ子氏
(5) 高松市福田町 川口文代氏
(6) 上州利根郡上村 阿部氏愛息

(7) 大分縣速見郡日出町 永氏愛息
(8) 秋田縣平鹿郡富澤村 小秋玉氏愛息
(9) 朝鮮群山 酒井氏愛息
(10) 大阪市東區船越町一丁目廿八 知藤氏愛息
(11) 福岡縣田川郡上野村 内山氏愛兒
(12) 金澤市下大鋸町 中島氏愛兒

女のくすりで一番よくきくのは

命の母です

藥學博士下山先生が〈命の母は、婦人藥として坊間に存在する凡ての藥品に比して卓絶なる效果を有す〉證明さ

〈なさつて……よい子……(最近の一例)は

第一等の婦人藥たる證據である

命の母略効
●子宮内膜炎●白血●足腰冷
●子宮外膜炎●赤帶下●頭痛逆上
●子宮實質炎●貧血●下腹腰痛
●子宮周圍炎●白帶下●月經不順
●子宮頸管カタル●血の道●子宮痙攣
●ヒステリー●暈●姙娠嘔吐
●膣炎●不姙症●卵巣炎

婦人病者の心得 [illegible]

藥價表 二日分 十日分 二十日分 五日分 … [illegible]

●全國有名藥舖に有り

本舖 笹岡省三藥房
東京京橋區新榮町四の一 (電話京橋貳〇一番)
大阪北區本庄中野町 (電話東貳貳貳三番)

京城日報

第五版

四日夕刊（新夕刊併せて八頁）

發行所　京城府大和町一丁目　京城日報社
電話（營業・編輯）一四五番　二二〇四番　振替貯金口座京城三〇〇番
印刷人　小松田□之介

支那漫遊　　蘇峯生

肅親王

肅親王に就ては、多く語る必要なけむ。両府は清朝親王中の巨擘也、我が五攝家中の近衞家の如し。予等は午餐後訪問せり。已に豫約ありたれば、直ちに引見せられたり。○應接間には、富士山の掛物と、金梨子地蒔繪の櫃に、黄金作りの日本刀を飾れり。○書棚には、明名臣錄、其他奏議類あり。又た卓上には、奈翁の小なる銅胸像を措けり。○親王は言語の人にあらずと聞きたれども、其の辭令の妙は、我國の貴人の及ぶ所にあらず。其の動作は莊重也。其の言語は丁寧也。其の容貌は竪に縮み、横に張れり。短軀ながらも堂々巨人の如きは、此が爲め也。其の顏は長くして、且つ狹からず。上部は濶く、中部聊か縮まり、下部は更らに開く。若し此の兩相を以て、其の三世相をトせば、彼は他日開運の期なしと云ふ可らざるに似たり。○親王は身體壯健なれども、足趾の水虫に閉口すと云はれたり。予も亦た同病にして、旅行中、何時も藥を携へつゝありと答へ、且つ曰く、曾て友人に皮膚病の醫師あり、予が爲めに三日にして全治せしむ可しとて、投劑したるも、寸効なし、予は却て今は賣藥の効能を認むと云へば。親王も藥用は、人々によりて相違ありと見ゆ。儂にも各所の友人より、種々の藥用を勸告し來り、今更ら當惑せりとて、主客顧みて、呵々一笑せり。○此に於て一禮して、親王の自重愛惜を祈りつゝ辭去す。親王予等を門外階段迄送らる。而して更らに停車場迄、親王自署の寫眞を齎らし、其の第五子君、及び通譯高狩君をもて、見送らしめられたるは、頗る感懷に勝へざる也。

大正六年十月十日午前六時、奉天ヤマトホテルの客室に於て、方さに北京に向はんとするの際しるす。

滿鐵の評判

滿洲の所謂る經營なるものは、二十中の九分九厘迄が、殆んど滿鐵の施設也。今其の滿鐵の評判を求めば、稍や野人の誹謗也、然も一二の誹謗なきにあらず。若し強ひて一二を紹介すれば、（第一）餘りに消極主義に偏し、社員の人氣全く沮喪す。（第二）幹部に中心人物なく、全く無頭動物也。（第三）上に厚く、下に薄し。故に有爲の社員は逃げ出し、又た新に來る有爲の人物なし。（第四）恒に政黨の影響を被る故に、不安の念多し。予は悉く之に賛せず。但だ滿鐵の幹部、及び當局の諸子に於ては、之を他山の石として、採擇して可也。

有體に云へば、中村前總裁―雄次郎―は整理屋也。事務家也。其の長所に短所の伴ふは、必然の理也。但だ彼が漸く整理の効を擧げ、積極主義に一轉換せんとする刹那に於て、都督となりたるは、彼に取りても、滿鐵に取りても、頗る惜しむ可きに似たり。然も問題は、都督としての滿鐵統裁權が、如何なる程度迄、實行せられ得可きか、にある也。其の厚薄、精粗如何は、滿鐵の當事政策に、至大の關係ある可し。予は多言せず。然も今日は滿鐵が、既往の成功を誇りて、自から滿足す可き時にあらず。滿鐵に必要なるは、創業の氣分也。創業の氣分也。

大正六年十月十一日午前五時營口滿鐵俱樂部上に於て

米國に於ける刑事政策（一）

京城覆審法院　中村檢事長談

刑事政策上最も重大なる問題は犯罪の鎭壓及び豫防にして、兩者共に司法當局及び犯罪學者等に依つて大いに研究されつゝ有るが、余も又米國に於ける犯罪の發生防止に關する刑事政策に就いては多少研究する處ありたるが米國は日本と其の民度に於て國情に於て將た風俗習慣等に於て全然生活狀態を異にし居る關係上刑事政策も又大いに異にし多少の缺陥弊竇は之無きに非され共其の制度施設は我の採りて以て範となすに足る者多々あるを以て左に所感を述べしに米國に於ける裁判所の組織は陪審制度にて、陪審官が犯罪事實の（認定を）なし判事は其の判斷に基き（刑）の適用をなす制度なるも、陪審官なる者は、普通人より選ばれたる者にして、司法の實務に關する智識及び犯罪社會の實情に疎く、動もすれば感情の支配する所となりて、的確なる事實の認定を下す能はざる嫌あるのみならず、有識者中にも之れを非難して、陪審官の參考となるべき判事の意見を提出せしめざる可らずとなす者多きも、余を以て言はしむれば陪審制度は米國の國情に照らして寧ろ適當なる制度なりと斷ずるに躊躇せず、何となれば陪審制度は判事が國王及び有力者の使嗾を受けて法の適用を紊り、人權を蹂躙する暴虐の時之を防止するの手段として、普通人より選ばれたる代表者をして犯罪事實の判斷をなさしめたる者にして、其の根本觀念は專制横暴に對する人民の權利擁護にありたるや論無し、然るが故に米國が英國の羈絆の下に在りたる時に陪審制度の要ありしならんも、既に英國の羈絆より脱して共和國を樹立し、其の人民は政治上自由にして平等なる以上、權力階級が法を紊りて人權を蹂躙するが如き事は絶對に無く、從つて陪審制度なる者の存在は其の意義を失ひたりと謂ひ得べく、米國が今に至るも此の制度を踏襲し居るは大なる矛盾なり、反之米國の刑事政策上最も進步したるは不定期刑の裁判言渡制度にて、刑事は輕罪以下に對しては不定期刑を言渡す事となり居るも一部法曹界に於ては不定期刑を擴張して更らに重罪にも及ぼさざる可らずと主張し居れり、抑も不定期刑は犯罪事實を確認し刑の宣告を爲すに當り概括的の刑を言渡し其の執行後に於ける犯人の性行其の情況を觀察し刑罰の責任を輕減し或は加重する者にして執行猶豫と共に刑事政策上最も進步したる制度にて、歐羅巴諸國に於ても之に着目する者多く漸次採用せんとする傾向あり、米國に於ては犯人檢擧より刑の宣告迄の時日短かくして到底犯罪人の性質、境遇、身體上の強弱、其他能力等を精細に調査する事を得ざるにも不拘刑期を確定する場合は改善の見込絶對に無き囚人も刑期滿つれば之れを出獄せしめ改悛の情顯著なる者も釋放する事能はざるに於ては犯罪者の惡意に背くと言ふにありて刑期は執行猶豫に設けたる機關に依りて決定する事となり居れり

三代の金石　　天彭

二、殷比干が銅盤銘

これは比干の墓から出ました銅盤の銘を石に刻したもので、今なほ河南省の汲縣に立つて居ります。石の高さは四尺九寸、廣さは一尺四寸、字數は十六字で「左林右泉、前岡後道、萬世之寧、於茲是寶」と讀まれて居ります。

比干は殷の紂王の暴逆を諫言し、ために心を剖かれた忠臣で、周の武王が紂王を滅ぼした後、その忠義を深く感じて墓を築いた有名なる事柄であります。されど墓に刻してある「殷太師比干之墓」の七字が、武王の書いた字だとか、孔子の書いた字だとかいはれますが、根據のある事ではありませぬ。

また銅盤は唐の玄宗の時に偃師縣から出たといふ説と、徽宗の時に陝西省の鳳翔縣から出たといふ説とがありまして、偃師縣にも鳳翔縣にも比干の墓がある譯になりますが、何れも有力な説ではなく、多くの説は汲縣説になつて居ります。しかるに河南府志は一異説を出して、汲縣の比干の墓は、殷の比干では無く、漢の武帝の時に廷尉の役を勤めた何比干の墓であると主張しましたが、これもまた反對説に用ひられて破れました。兎に角、この盤銘は宋の徽宗の時に刻した汝帖に載つて居りますので、元の延祐年間に王公儼が、始めて汝帖から模して石に刻し、ついで明の萬暦年間に、周思宸が再び汝帖を摹して石に刻しました。それが現存して居る石であります。かやうの次第でありますから、僞銘は辨明を用ひぬと思ひます。

次に殷代の遺物と呼ばれる散氏の銅盤銘が現存して居ります。字數の三百四十八字、カナリ長文です。この銅盤銘は散氏といふ邑主が隣地の人に侵掠せられた我が領田を戻し、因て領地の疆域を正すべく隣地の人と誓約し、その誓約を銅盤に鑄つけたものであります。かゝる習慣は殷人の特有に係るのです。

重九雅會席上賦（其二）　　武田魯行

滿陽秋色滿城開。盡日淋漓酒作媒。祇樂紅紅葉谷白。雲醒白白雲臺。人淺陳迹重陽節。菊泛芳香延壽杯。名句畫頭山一角。鴻雙影度崔嵬。

評曰請超輕圓。筆意自在。

竹田雲雨

一疇乘興上高臺。兩酒吟詩佳宴催。籬城何恙重九節。惠風恩露菊花開。

評曰樣度中有無限之感。

兒島九泉

重陽小集菊花香。走馬邪雲無俗韻。海外流離今難覽。何今誰擬老盤遊。

評詩一唱而成。

茂泉深堂

文遊山陽節。東籬菊正讀。芬花開日。[illegible]

評曰簡潔可喜。

諾（115）　　布施生譯

概太郎が往つてしまつてから一時間ばかりと云ふもの保部夫人は全く氣脱の態であつた、其うち少しづゝ考へが開けてくると同時に堪らなく心配が湧立つた、考へてみれば自分は恐ろしい惡謀の係蹄に懸つたのであつた、概太郎は自分の慾愛に甘へて平氣で自分を苦しめ、自分の心の迷ひを利用してうく〳〵惡謀を遂行した。

鈴富が、あゝ鈴富が果して一味なんだらうか、いくら考へても之はさうは思へない、鈴富が概太郎に金庫の合文字を漏らしたのだと何が何である、……係りに眞正らしくない。樣事はしやすまい、と謂つて鈴富以外に合文字を知つてる人は無い筈である。更に鈴富が漏らしたのでなければ今晩鈴富が頭取の誡に背いてあの大金を金庫に殘つて置いたのが分る筈は無い。鈴富が其頃茶若茶な生活をして居る事は夫人も薄々聞いてゐた、下宿では無暗に贅澤を盡してゐるとか謂ふ、夫人は自分の經驗から推して氣の弱い者は不識の間にどの位まで人を欺き自ら侮るやうな羽目になるかを知つてゐる、それから思ふと殘念ながら概太郎の言つた事は眞正らしい、どうも鈴富は一味になつたに相違ない。

夫人はしかし鈴富を責める氣にはならなかつた、責めるべきは寧ろ我身である、鈴富が自身の家のやうに思つてゐた此家から自然に足を遠退けるやうに仕向けたのは我身ではなかつたか―彼が終生の希望を破壞して墮落するに放蕩を始めさせるやうに仕向けたのも矢張り吾身ではなかつたか、鈴富は……途方もない惱みを負ふてとう／＼今度の一件を仕出來すやうになつた。この顏さげて自分は嬢に此話を聞かせられやう、夫人は一時遁れとは思ひながら兎に角出來るだけは嬢の耳に入れる事を避けやうと決心した、そして嬢が歸つてきた時もさう／＼一言も之に就ては口をきかなかつたばかりでなく素振にも氣取れずにうまく／＼と隱し果せた、それからはかねて徒らに過行く時計の針を數へ、今から六時間經て五時間となり四時間三時間と縮まつて二時間になり一時間の後には漸々一件を知れるに相違ない、知れた嬢には――夫人は死ぬ程に思つた、を醒ましても嬢は起上る氣力もなかつた、氣がついてみると身體は冷汗にぐつしより濡れてゐた。

そうこうする間にとう／＼深嬢が其盜賊の話を持つてきた、嬢は顏色を變へ落著かない眼光をして夫人の部屋に飛込みざま『伯母さん昌さんが銀行のお金を盜つたんですつて、いゝ人が皆そんな事を言つてゐるのでございますよ、でも其樣な事は無いと思ひます、私あの方に會ひましたわ、そして話を致しましたわ、いゝわあの方は屹度無實でございますのよ、だつて若しかそんな事を遊ばしたのならあの方は私にお顏をお合せなさる筈がございませんもの、いゝわ伯母樣之は屹度利介さんか概太郎さんの所爲ですよ』夫人は白狀しやうと目を開きかけたが如何したものか否な事に言ふ事を躊躇した。嬢は續けて『概太郎樣は一體如何する心算なんでしやう、あんな無實の罪を負はされては可哀そうに昌さんは死んでしまひますわ、あんな耻かしい目に會ふより死んだ方が可うございますもの』と言つてる處へ保部老人が憤然として飛込んできた。

（雜誌抄）

◆赤穗義士の探偵術

赤穗義士の探偵術として『探偵雜誌』に湖柳和英氏が『神崎與五郎は麻布の上杉家の傍へ居を出して扇子屋となり更に本所吉良家の傍へ居を出して吳服小間物商人となり、上杉當主の米澤へ引移るや吉良家の樣子を偵察し、原惣右衞門は町醫者となり、岡崎八十右衞門は魚類青物商人となり、八十右衞門の妻は吉良家の下人の勝手許までなし、又た原惣右衞門は謡曲の師匠となり、前田又之丞は謡曲、大高源吾は茶の湯の宗匠、其他の者は乞食の樣な風體で吉良家の周圍に立廻つて樣子を探つたのである。此の外岡野金右衞門は吉良家中の者の乳母を籠絡し込んで色々内情を偵察したのである』といふ記事を出してゐるが此の記事を讀んだ讀者は故武田範之和尚の『大石は怪まず大逆を行ふ』といふ名句を今更の思ひ出されるのである。（木欄の擔當記者）

東京大傳馬町　寺田淳平商店
特約販賣御希望の方は御申越次第『販賣案内』送呈可申上候

謹告

從使弊社臨時製鐵所建設部にて起業中の朝鮮兼二浦に於ける製鐵事業近く完成の域に可達候に就ては今般新設の三菱製鐵株式會社へ本日より右業務一切を引繼き製銑製鋼等の鐵工業を經營爲致候間右御了承の上弊社同樣御眷顧賜度此段謹告仕候也

大正六年十一月一日

三菱合資會社

謹告

弊社儀本日より三菱合資會社臨時製鐵所建設部所屬に係る業務を繼承し朝鮮兼二浦製鐵所に於て製銑製鋼等の鐵工業經營を開始致候間何卒御高庇賜度奉希上候也

大正六年十一月一日

三菱製鐵株式會社

三菱製鐵株式會社
資本金　參千萬圓
本店　東京市麹町區八重洲町壹丁目壹番地
製鐵所　朝鮮黃海道黃州郡松林面兼二浦

大阪屋號書店
朝鮮法令輯覽　[illegible]
日本刑法　[illegible]
中學作文講話　[illegible]
朝鮮　冬の防寒法　[illegible]
京城本町　大阪屋號書店

最新刊
自宅で完全に中學卒業と同等學力を得せしむ
模範中學講義錄
日本一の
奬學金大特典
大日本模範中學會

東京藥學講義錄
文檢合格者を出せり

京城案内

女子募集

總督府印刷所

銃砲火藥
鍮戶銃砲店

支局長募集

外勤社員招聘

貸家

銃砲火藥獵具
藤本銃砲店

銃砲火藥獵具
瀧川銃砲店

礦物定量分析
坂元分析所

はねつき（うきみくじき）

柔術道場

朝鮮語科　英語科

年金　即時
江州屋本店

前場　寄付　十九圓三十八錢
止メ　十九圓三十四錢
安値　十九圓二十八錢
高値
出來

常限　寄付　二十三圓六十三錢
中限　二十三圓六十九錢
先限　二十三圓二十四錢

米

四節大ノ七錢と更に安入電、中三十五錢より三十錢先は十錢度と下放れ一二錢を採合ひ結局四錢十九錢八錢九錢一十錢さ打止めなるが相場の變態に…

◎獨逸水雷艇撃沈

リガ地方の各地點に於て敵は豫定の陣地に退却しつゝあり而かも敵は其軍隊を他の戰線に移送すべき模樣見ねず敵水雷艇一隻インダ灣にて我水雷艇二隻の爲めに撃沈さる我軍は二隻の汽船を燒き沈めたり(多維電報)

◎伊軍敗退と獨探

伊軍が今回驚ろくべき敗退を爲したるは獨探が伊軍の最弱點とする處を突止めて敵に通じたる爲めにして此役に於て獨墺兩軍の戰死者は二萬を算す(多維電報)

◎獨艇の五割を撃沈

ゲデス提督は英國下院に於て說明して曰く今日迄獨逸潜航艇の總數の約四割乃至五割は聯合國側の爲めに撃沈されたり而して聯合國側汽船の撃沈されたる噸數は[illegible]月五十萬噸なりと(倫敦電報)

◎獨軍ウ半島撤退

[illegible](倫敦電報)

◎獨奧兩皇帝會見

獨帝は二十一日墺國皇帝カール一世と會見すべし(倫敦電報)

◎新宰相就任承諾

獨逸新宰相ヘルトリング伯は一度其就任を拒絶したるも更らに之を受諾せり(倫敦電報)

◎米國兵遣伊要求

[illegible]ルソン氏に對し至急特別議會を召集し以て米國軍を伊國に派遣せんことを迫れり(紐育電報)

◎米債應募五十億

米國自由公債に對する應募額は五十億弗に達せり(紐育電報)

◎共通法規の內容

二日の內閣會議に於て決定せる共通法規の內容は民事商事刑事の各法に亘り條文を列擧し內地と各植民地間及各植民地相互間に於ける諸法規統一を期せんとする趣旨の下に立案されたるものなれば實施の曉は之に依りて內地人と朝鮮人との間に於ける正式婚姻出來得る事と[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峯生

○希臘の歷史を讀んで、最も奇異に感ずるは、其の市民が、餘りに個人的慾望に趨りて、協同一致の精神を缺くの一事也。希臘列國の不一致は勿論、其の一國—今日に於ては、一市、一都とも云ふ可き—中に於てさへも恒に黨爭絕ゆることなき也。而して一身の都合上にては、其の重なる市民、何時にても敵に降參し、敵の參謀官となるを辭せざる也。乃ち崇高なる意義に於ける、愛國心なるものは、希臘市民中には、多く見出す能はざるが如し。

○協同一致の精神とは、盲從にあらず、詭隨にあらず。本公、殉公の大義より、割り出だし來りて、意識的に、己を枉げて、他と與にする精神也。

○凡そ寄合世帶には、我邊に任せぬ事多し。彼には彼の了見あり、我には我の見識あり。其の十人十色の考を調和して、之を一團の勢力となすは、決して尋常の事にあらず。唯だ銘々個人本位なるが故に、始めて己を枉て、公に就くを得るのみ。

○個人本位乎、團體本位乎、究極の問題は、唯だ此れのみ。若し人は人事の複雜なる、必らずしも單本位ならざる可らずと云はゞ、乃ち多くの場合に於ては、個人本位と、團體本位の、複本位あるを見る也。されど面倒は何時も、其の本位の衝突にある也。故に究極の問題は、本に返りて、個人本位乎、團體本位乎となる也。

○吉林問題形勢急

[illegible]安協す可き形勢にありたる[illegible]

○調停案と孟督軍

奉天軍は其出動を三日間延期せ[illegible]攻略し進むで[illegible]四川軍の[illegible]

物價騰貴と地方經濟狀況

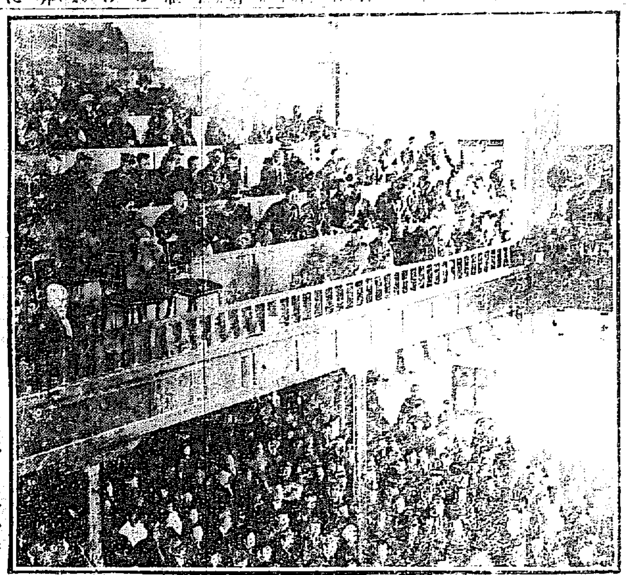
△全羅南道 [illegible]

△企業經濟は[illegible]農業上の勞銀に於て細民の進んで服役を希望する者[illegible]然るに工業勞銀低下せる地方なきにあらず殊に木浦の如きは仲仕等の賃金約二割方の値上を現し每年來內地諸工場より職工勞働者の雇傭契約を爲し內地移住を希望する各種勞働賃金の値上は到底免れざる趨向に在り且一般工業材料[illegible]

△支辨事業[illegible]

◎京城俱樂部發會式

[illegible]



せて二時三十分開式、狹田幹事長代理として工藤幹事登壇簡單なる挨拶を述べて直ちに式を閉ぢ、其れより再び演藝會に入つて村井眞吉の出世車といふ一席もの、嬉しい講釋があり、次いで大村紅澤の西洋奇術大島伯鶴の講談と順次豫定の番組を了へて午後五時目出度く閉會を告げた

◎日米覺書

在米石井特派大使歸朝と同時に東洋に於ける日本の特殊地位に關する日米間の了解に就き[illegible](東京電話)

◎特使歸朝期

[illegible]

◎朝鮮事業公債(一)

[illegible]

△一般地方金融[illegible]以上にして發芽の遲延より來る減收[illegible]

◎京城最近商況

[illegible]

◎京城府稅滯納

[illegible]

◎府市街地督促

京城府にては第二期市街地稅の法定納期も經過せし事とて多額の納稅者にして未納の向へは一日附を以て督促狀を發し其他に對しては十一日附を以て全部督促狀を發送する豫定なるが此の人員約二萬五千人稅額一萬一千餘圓の見込なりと

△之を前月に比すれば輸移出に於て二萬八千餘圓を增加し輸移入に在りては一萬七千餘圓の減少を見たり而して更に之を前年同期に對比する時は輸移出に於て九萬一千餘圓を減じ輸移入に在ては五萬七千餘圓の增加を示せり

[illegible]

天長節祝日 一一 一心なり

字探し懸賞募集

此の廣告中に萬の字幾字あるか

英獨佛夜學開始 本月十五日より 講師 京城外國語夜學會

廣告(注意)

特撰大寫眞 小笠原狐 尊き靈言 娘之恨 本日朝興行より 黃金館

店員入用 三十歲迄甲種商業學校卒業以上 京城本町 ちゝぶや

內科小兒科 小林醫院 醫學士 小林千壽 入院隨意 京城旭町一丁目 電話六九二番

入會は今! 會員募集 探鑛冶金學講習會 會長工學博士横堀治三郎先生

卸商 安利號 京城府 電話二〇七二番 振替口座一〇六八番

鐵鋼 在庫 豐富 福田又京城支店

婦人之友 十一月號 世帶經營號 子孫と美田 何の爲の世帶の苦勞か 家計豫算 夫婦百相 小說

[illegible]第二十七師團を鐵嶺より出兵すとの飛報來れり吉林軍は[illegible]て伊通州に多數の兵を發し居れるが同地よりの電報に依れば該兵は三日朝來行動を起し附近に在る大小兩孤山其の他の高地に配兵し形勢頗る緊張し來れり(長春特電)

◎唐繼堯重慶を覗ふ

[illegible]三箇條なるが予が督軍は各府長と會商の上回答する筈なりと[illegible]に入るべく志を決し先づ部下を出發せしめたり其の目的は重慶を[illegible] 雲南の唐繼堯氏は遂に四川[illegible]

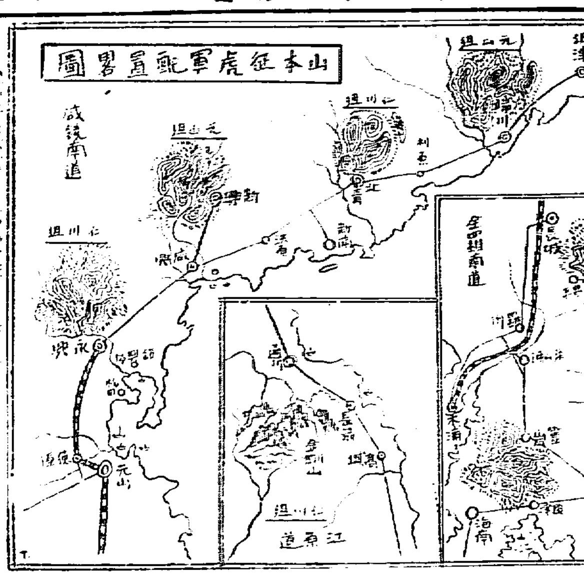
[illegible]一錢三十錢二十九錢八錢[illegible]

◎運貨院線倍賃扱 鐵道院[illegible] 運搬貨物にして本年九月一日より[illegible]

別働熊討隊

山本氏の朝鮮虎狩(三)

◆驕奢荒淫の成金輩を尻目に
◆來る六日より序幕開かる!



今次征虎軍の本隊として成[illegible]一帶に出動の、虎狩専門四部隊に關する編成及び配置等は前號記載の通りなるが、更に別働隊として熊及び豹を専門に襲撃する一隊が出來る。仁川に籍を置き、同じく猛獸狩の先達、主將姜龍根、副將李允會に次ぐ第三位の名砲手に崔衡豐と云ふあり、彼は勿論虎及び豹に關しての功績も特筆するに足る猛者であるが、別けて熊討は彼が専門の特技にして、此點に於ては姜、李の如き天才の砲手に對しても、敢て一譲を輸せざる確信と妙技あり、冬季は毎年江原、咸南等熊の狩場に出動殊勳を奏して居る。征虎軍參謀部は直ちに彼の特長特技を利用する事に決定した

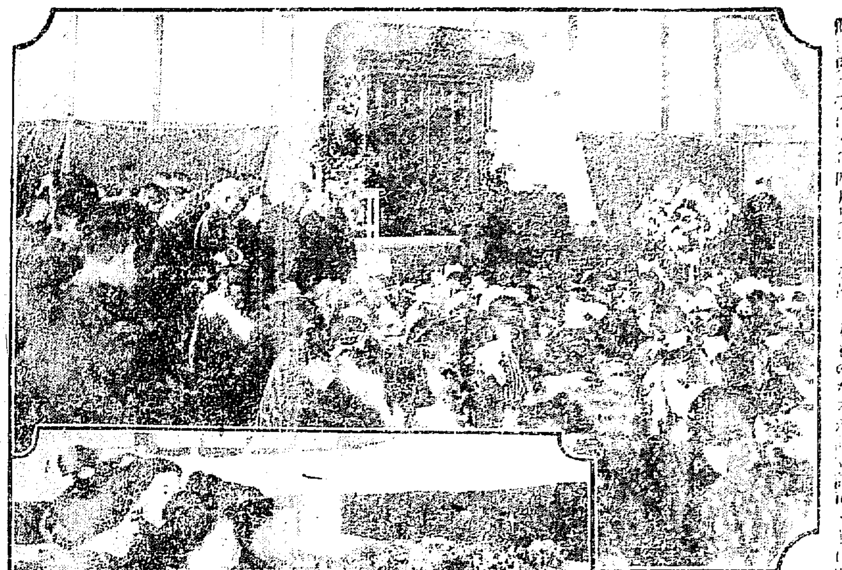
金剛山一掃

抑々熊の巣窟は江原道金剛山脈系一帶の峻嶽にして全鮮に亘り最も多數の棲息地ではあるが、如何せん奇岩聳立、森林鬱茂、其山勢の峻嶮なる事他に類なき程にて、如何に老練勇悍の砲手と雖も、斯かる嶮惡の山地にありては熊の行動に及ばず偶々遭遇し乍ら之れを逸するの止むを得ざるを例とする、然るに[illegible]は、金剛山脈棲息の熊が[illegible]幹偉大従つて熊膽の大なる爲め、毎年此嶮山系に進撃して必ず好成績を擧げて居る。今回特に選抜されて別働熊狩隊の部將となる、彼十二分の成功を確信し、目下[illegible]の如き數頭の[illegible]熊を獲ず可く腐心研究中と云ふ、[illegible]其實戰の壯觀は蓋し想像に餘りあるであらう

副將李允會

主將姜龍根の[illegible]を[illegible]せんとしつゝある副將李允會の手腕活躍振りに就ても些しく紹介致して置きたい。姜は散彈實彈共に百發百中の名手實に天才の人にして、朝鮮砲手の筆頭たる事獵界誰一人異議なき處であるが、李允會亦た研磨の結果技倆速達、昨今は姜主將と雁行、殊に實彈射の正確は或は一頭地を拔くと迄激賞せられて居る、彼は當年四十六歳、少壯時代より銃獵を專門の稼業とし、五體は金鐵の如く四季其々の獵場に馳驅して今日迄に虎豹を斃したる數は實に六十餘頭、猪[illegible]內地の白熊を擊滅して、更らに三年間滿洲一帶に長驅白熊狩を試みたる程の銃獵家である。

結束奮起す



上は開校式の光景 下は父兄の菊見物

唱あり清水校長閉式を宣し一同退場せるが時に二時半なりき、式後來賓は兒童の遊戲及び陳列の菊花を觀覽し茶菓の饗應を受けたるが父兄の參列者も夥だしく盛典なりき、尚同校は開校祝の意味にて紅白莢彩とり〲の菊花數十鉢を陳列し四日(日曜日)一般の觀覽に供する由

◉兩艦隊の衝突近し

烏飛鎮海灣の水路封鎖さる

[illegible]

乘馬會の試乘

[illegible]

東大門小學校の開校式

[illegible]

◉無情の妻を斬る

平南平原郡青山面馬山里[illegible]妻李光運の兩人は昨年來[illegible]

◉哈爾賓の亂脈

[illegible]

◉有岡鼠九頭

[illegible]

◉健氣なる少年選手

[illegible]

善隣商マラソン競走

內地人本科生徒練兵場出發の光景

珠算獎勵の目的を以て競技大會を開催すべく本年は單に在學生の競技のみに止まらず一般商店會社の[illegible] 競走は[illegible]を一組として七十四名の選手出で練兵場より龍山電車終點先きの踏切までの往復四哩を十九分三十秒にて[illegible]木良雄といへる十三歳の少年第一着となり之に次げ[illegible]

◉滯納常習者の成績

[illegible]

◉田中事務官慶事

[illegible]

◉僞大盡

長崎縣下縣郡嚴原町生れ無職與村房太郎[illegible]は[illegible]

◉仁川商專競技會

仁川商業專修學校にては四日午前十時より公立小學校南大體操場に於て[illegible]

下落した 銘仙!!
自慢の珍柄 澤山著荷
京城本町 ちとせや 電話八九〇番

大正館 二日より全部新寫眞を差替[illegible]
有樂館 五日より特別大興行をなして[illegible]
黄金館 四日より[illegible]

當る五日より特別大興行(五日替二回完結)
▲合資會社小林商會直輸入帝劇封切空前の大寫眞現る
▲日本人は忘れても見遁す勿れ
◉「潜航艇の秘密」と「電話の聲」
上場日割 前編十卷 十一月五日より五日間限 後編十卷 十一月十日より五日間限 [illegible]
▽破天荒空前の大提供問題の大寫眞愈現る
千尋の海底を縱横無盡に馳逐する大怪物?
勇者波に漂ひ美人孤島に泣く局面の怪奇言語に絶す?
□米國アメリカンフヰルム會社特製連續寫眞
□米國桑港クロニクル紙外百廿種新聞紙連載傑作
□トムチヤツタートン氏チユニアハンセン孃出演
絶海孤島の大活劇(東洋一手興行權利所)
潜航艇の秘密 全十五篇三十卷完結
THE SECRET OF THE SUBMARINE
日本辯士界の泰斗西村樂天一門の秀才
說明者 藤野睡虎、茂木天洋、岡田天城、河野紫光、南郷公利、久世春濤
國世界的間諜の可驚暗中飛躍!
國全世界を背景とさせる大追跡!

本年九月始めより十月に亙り前後十日間東京帝國劇場に於て六十萬の入場者を數へ日本開闢以來空前の記錄と叫ばしめ東都三百萬の有らゆる階級を唖然たらしめたる問題の大寫眞!
淺草帝國館は十月十三日より京城有樂館は十一月五日より之を公開す牛島キネマ界の覇早川演藝部の活躍と努力は晩秋の錦となりて實現す、來れ見よ 海國の男子 海國の女子!
(本興行に限り觀覧料 一等六十錢 二等四十錢 三等二十錢 從來發行の觀覧券にて入場謝絶候)
早川演藝部直營 有樂館 電話二一〇五番五九七番
特別番外「電話の聲」 毎回二卷宛差加へ上場

移轉御披露
大改良を加へ(元千代本跡)へ移轉仕候
何卒舊に倍して御贔負の程伏して奉願上候
尚宴會の御用命は御申付通り御豫算に追加超過致さゞる樣堅く取計ひ決して御申受間敷く候
赤星きみ子 謹白
京城本町二丁目(元千代本跡)
會席御料理 梅の家
(電話)七三五番 (電話)七三四番

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第五十六回 大阪入(一)

『お供揃へ、お供揃へ』

正則の本陣では、天の全く明け切らぬ中、斯うした布令が出た。今といふと今の外、融通の付かぬ主であるから、すぐ用意に取かゝる。正則は『草津へ』と云つた。金瓢輪の鞍を置いた栗毛の馬が、粛々と嘶む。草津へといふのは、家康の本陣を尋ねて、図書の首を贈られた禮を云ふ心であつた。

家康が股肱として、大事の役目に當らせて居た大身の図書を、強て三左衛門の相手として殺させた事が、いかに横暴であり、無理であつたかは、正則自身もよく知つて居る、彼は斯うして己に對する家康の信用を計つても見、また己の勢力がどれほどであるかを計量しやうとした意味もあつた。

然し、後で考へると、それはいかにも無理である、假へ三左衛門は図書が相手でござる』とは云つても『図書の關り知つた事でないのは無論である、三百人の猟卒に腹を切らせよと云つたゞけでも、家康としては無上の譲歩である、然も夫さへ背き入れずに、是非図書の首が見たいと迫つた、さうして遂に本意を遂げた

『内府公が宜くは思つて居ないだらう』

合戦の事の外には大した才智も無いやうに見られて居て、比較的小さい事に氣の付くのは正則であつた、夜一夜考へた上、草津の本陣へ行つて禮を述べようと思ひ立た、それで早く大津の本陣を出たのである。

家康の本陣へ着いて『御機嫌伺ひの爲め参上』の旨を云ひ入れると、初鹿野傳右衛門が取次に出る。楠に束を押して、伊奈図書をむざむざ殺した此目の仕方を知つた者は、正則を善く思はぬ、正則が家たゞ聞くこと、皆が白い目を注ぐ

左太が來たさうな、彼の首で図書を殺した、惜しいではないか、彼を取つて遣りたいではないか。

中には斯う云ふ者もあつたが、家康は平生の通りに待遇した

『昨日は兵部少輔殿を遣はされ、拙者家來の相手として、伊奈図書の首級を贈り遣はされた、御芳心を謝し申す』

正則はまづ感謝の意を述べた、家康は心の中に『この狂人め、乃公の秘蔵の家來を殺し居つた、今に見よ、その鼻柱を挫いて遣らうに』と思ひはしたが、そんな事を顔に出す大将ではなかつた、莞爾として

『わしも、今日は大津へ参らうと存ずる、大納言(秀忠の事)も昨日著いて大津へ参つた』

『御意にござります』

『此度の合戦に勝利を得て、わしも甚う満足する、左太も聞かれたであらう、昨日は堤れ多くも、禁裡様から、御慰問の勅使を下された』

『何とも祝着に心得まする』

『我等も追ては大阪の城へ参らればならぬ先登はどうせ貴様ちや』

正則は斯うした、それは大阪の城に秀頼が居るからである、家康に對しては我儘を云ひ、今度の事で、己の地位の案外に高いのを知つて、多少の慢氣は加して來たが、それでも秀頼即ち豊臣家の前途を思ふ心に異りはなかつた、豊臣家との間に結ばれた深い關係があるに拘はらず、家康に味方して先の役を勤めたも、詮する處は秀頼を大切と思ふ心に外ならなかつた

その秀頼の根據地たる大阪入に先陣を命ぜられようと云ふのを謝いて、正則は辭退したのも無理はない、家康はこゝで大阪を攻めると主張したら、正則は躍りかゝつて、家康の胸頭に冷い刃を當てゝ居たかも知れなかつた

本町一丁目三越向 電話一四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治

同活巴河例會 (十月十一日林町小原宇咲居にて)

の秋の水

新刊紹介

▲書畫骨董雜誌(一二二特別倍號) 十五錢 東京芝南佐久間町其社
▲少年(二一) 佐久の草笛、獅臨城の怪猫、雲中の決鬪、愛馬の涙(日獨戰話)其他神々自際探偵小說傳奇等満載 (十六錢) 東京…社
▲三大宗教(三氏合著) 第一編佛教綱要(島地默雷著)第二編基督教綱要(…)第三編神道綱要(…) 一冊二十錢大阪北區
▲電氣界(一一九) 業者…
▲月報(一一) 長春貿易協會
▲帝國青年(一〇) 農村の精神、…界の大革命、…青年團、觀戰…其他(十二錢)東京…
▲第十回參政報告 非賣品 朝鮮總督府度支部…
▲武俠世界(自然生活號) 虚飾を捨てゝ自然生活を樂しめ、浮薄な成金萬能を戒む、…其他(三十錢)東京…
▲勝友(八ノ十) 京城本町三ノ四十淨土宗…
▲雄辯(一一) 世界の新局面に對する覺醒…(三十錢)東京…

大阪株式
	三日前場	三日後場
宇治川		
京阪電	六一、九〇	六〇、八〇
東京新	一六二、六〇	一六一、六〇

仁川米豆取引所
日本郵船	二七七、一〇	二八四、九〇
同新株	二六三、九〇	二七六、九〇
東京株式	一七二、〇〇	一七八、〇〇
大阪株式	一八一、六〇	一八四、六〇

大阪期米
平均値段
一節 十九圓三十四錢
二節 十九圓三十三錢
三節 十九圓三十四錢
四節 十九圓三十三錢

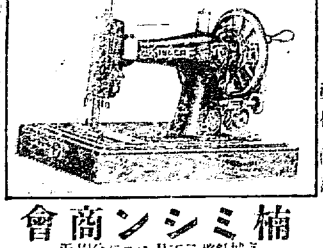
△三日後場 中阪一節十九圓四十五錢より八錢と引先限十九圓二十九錢と三錢高に寄付三十一錢と跳ね二十八錢二節中四十七錢より六錢あり七錢先二十九錢より七…と…後場中限一節十九圓四十五錢六錢七錢八錢平均値九十八錢二節四七錢六錢七錢平均値四十七錢四節三十五錢四錢三十錢二錢一錢二錢

奉天經濟雜信
▲物資輸移出高 奉天に於ける九月中の輸移出物資總數量は…方面して大豆及び豆粕は全部大連へ米は北方沿線各地へ麥粉は殆んど撫順、沙河の兩地へ絹絲は撫順、開原、鐵嶺、長春の各地へ移出せられ鐵類及び皮革類は全部内地へ其の…
▲獸骨輸出旺盛 滿蒙獸骨の内地に輸出さるゝもの年々多きを加へ…
▲甜菜栽培結果 南滿製糖會社にては此程甜菜の採集に著手し目下栽培地三千町歩に亙りて盛んに收穫しつゝありて本月末には…合計量等何れも好成績にて其大さ二三斤糖分約十二パーセントに達せし見込なりと

半壤

新村里 池田商會平壤出張所
出張所開設 栗藥栗
京城南大門前 電話二九番 池田商會

御佛具調進所
京城本町三丁目(花月前) 小倉佛具店 電話七一一番 振替五二元

○地方代金引換 市内電話にて御注文次第配達

新古ミシン賣買 ミシン部分品御卸小賣 針・油・修繕
京城黄金町三丁目 電話一九一番 楠ミシン商會

京染各種 御誂紋付用 刺繍各種 衣裳地見本 圖案
新年用御誂へ紋付染物は至急御申込被下候 此際特に勉強仕候
京城本町二丁目 電話長一四〇一 京屋

證保効有香腐師調
KAZEPIRIN
解熱 完全 鎮痛 京城 風 京
大學病院 處方劑
本舗 …藥局

東京式 タンス指物製造販賣
京城本町四丁目 津村タンス店 電話二六七〇番

ツケタ人

あざ ソバカス ほくろ いぼ しみ シワ
全治して喜び感謝が山の如く着荷致す
全部はハチになる
皮膚科專門陸軍一等軍醫音尾博士の發見した不思議にヨクキク藥有三錢切手封入東京府淀橋町柏木百廿番東京博愛藥院宛申込め…

料理研究の捷徑
▲料理が容易に覺えられて
▲作法も同時に習得出來る
日本ほど料理智識の乏しい國は稀であるが、近來我が婦人會に料理研究熱が勃興して、何人もこれが習得に努めて居るのは、誠に喜ばしい現象であります。然るに日本には未だ料理研究の機關乏しく、折角料理研究を思ひ立つた方も、良い講習法無きに苦しんで居るのであります。
▲坂垣伯爵夫人は此の時代の趨勢を看取して、茲に東京割烹講習會を設立し、完全なる料理講義錄を發行して居ります。

東京割烹講習會 東京本郷元町
振替口座東京一九四一〇番、電話…谷五六九二番であります。

永久に家庭の愛用品たる ツバメ歯磨
ツバメ歯磨
常用せらるゝ三大理由
▣化學的に歯を強く美白ならしむ。
▣純良無比の高貴原料を使用す。
▣芳香清冽防腐殺菌力強大なり。
大阪 東京 丹平商會發賣

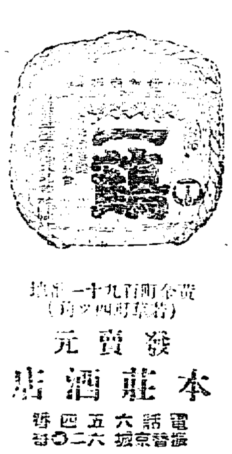
下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番
最上醬油 キハク印
醬油の撰擇を誤れる年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の醸造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證左

にせドラッグあり注意
大阪區裁判所檢事局
百圓進呈 りん病ばい毒 帝國醫科大學病院
にせ物あり 大阪有田
大阪有田ドラッグ本部 京城南大門外停車場通
京城 南大門外停車場通 大阪 グッラド

りん病ばい毒に惱む患者諸君に警告す

中央婦人病院
京城明治町二丁目 院長 大…

支店 東京、大阪、神戶…
出張所 …長春…
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸出、爲替等一般銀行業務ヲ營ミ…取扱申候
電話 …

優等清酒

發賣元 本莊酒店
黃金町百九十一番地
電話六五四番 振替京城六二〇番

内科 胃腸病
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二九〇番

老母ソノ儀病氣の處保養不叶本日午前七時死去致候間此段知己諸君に謹告候
友人總代 …

日本郵船仁川出帆
大阪商船仁川出帆
釜山出帆廣告
京城自動車 金泉支部
開自動車發著時刻
×安東 九日 十一月十六日 後二時出
×安東 九十一月四日 後二時出
△濟南 九日 十一月十一日 後二時出
鎭南浦、大連行 安東 九十一月十一日
安平 十一月八日 後十二時出
宮島丸 十一月十五日後十二時出
上海、青島、芝罘行 大連丸 十一月十六日 後四時出
切符發賣所 仁川京城通 開盟旅館 電話一二六一
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二六二八
切符發賣所 朝鮮郵船會社 電話七〇八